

令和4年度 ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務

NPO、企業等との連携・協力事業
(NPOと企業等のマッチング事業)
報告書



福島県

ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

目 次

| | |
|----------------------|-----|
| 1. 事業の目的 | 3 |
| 2. 事業スケジュール | 4 |
| 3. 事業の内容 | 6 |
| (1) 事前アンケート調査 | 6 |
| (2) NPO 事前講座 | 1 6 |
| (3) 企業との情報交換会 | 2 2 |
| (4) NPO と企業とのマッチング会 | 2 5 |
| (5) マッチング会後のアフターフォロー | 5 6 |
| 4. マッチング事業の成果 | 6 1 |

1. 事業の目的

多様化・複雑化する現代社会において、福島県では多くの NPO が地域課題の解決や暮らしやすい町づくりなどに向けた様々な事業に取り組んでいる。長引く新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の影響で、生活困窮やうつ、孤立などの問題が深刻化している。一方で、リモートワークが追い風となった地方移住への関心の増加により、地域活性化のニーズに対応する NPO の活動も活発化している。

また、新型コロナによる行動制限の影響等によって事業業績が悪化した企業も増える中、社会変化に対応すべく企業経営に対する意識を変革し、また新規事業の開発や市場開拓を図る企業も数多くみられる。

当事業は新たな事業展開を目指す NPO の運営を、社会変化への対応を図る企業等との連携・協働促進を通じて支援するとともに、深刻化する地域課題の解決に寄与する事業を生み出すことを目的として実施した。

<NPO と企業等のマッチング事業の令和 4 年度の基本的な考え方>

今年度の事業では、まず参加者の募集において従来通り県内の NPO に広く参加を募るとともに、事前のアンケート調査等で協働に関心があるという回答があった NPO に対して参加を呼びかけ、連携・協働の促進を図った。

マッチング会に向けた事前準備段階では、NPO に対して事前講座や団体紹介資料作成などへの伴走支援の中で、連携や協働を目指す理由や、自団体の強み、連携先に求めるニーズを明確にし、マッチング会においてどのような連携・協働事業が考えられるかお互いがイメージできるように心がけた。また企業に対しても、情報交換会や直接訪問などを行った際に、マッチング会やその後の交流が活発になるように、参加予定の NPO のニーズや連携・協働のアイデアを説明した。

このような準備を経てマッチング会を行うと共に、会の後も必要に応じて連携・協働の具体的な提案や事業創出をサポートするなどの伴走支援を行った。

また今年度から、行政と NPO の協働を推進するために、県の各地方振興局の職員も参加した。

2. 事業スケジュール

本事業の内容については大きく分けて

- [1]事前アンケート調査
- [2]NPO 事前講座(基礎講座、応用講座)
- [3]企業との情報交換会
- [4]NPO と企業とのマッチング会
- [5]マッチング会後のアフターフォロー

の5つの小事業があり、その実施スケジュールは以下のとおりである。

[1]事前アンケート調査

6月20日(月)～7月20日(水)

福島県内のNPO(859団体)へのアンケート調査

6月20日(月)～10月31日(月)

福島県内企業(1,121社)へのアンケート調査

[2]NPO事前講座(基礎講座、応用講座)

基礎講座

9月21日(水) 福島市市民活動サポートセンター(福島市)

9月22日(木) 郡山市労働福祉会館(郡山市)

9月29日(木) いわき産業創造館(いわき市)

9月30日(金) 鶴城コミュニティーセンター(会津若松市)

応用講座

11月2日(水) 10:00～12:00 会津若松会場参加者向け

11月2日(水) 14:00～16:00 福島会場参加者向け

11月4日(金) 10:00～12:00 郡山会場参加者向け

11月4日(金) 14:00～16:00 いわき会場参加者向け

Zoomによるオンライン開催

[3]企業との情報交換会

11月11日(金) 14:00～16:00

Zoomによるオンライン開催

[4]NPO と企業とのマッチング会

- 11月15日(火) アピオスペース 大会議室(会津若松市)
- 11月17日(木) co-ba koriyama 研修室(郡山市)
- 11月22日(火) いわき産業創造館 企画展示室A(いわき市)
- 11月25日(金) 福島市市民活動サポートセンター A,B 会議室(福島市)

[5]マッチング会後のアフターフォロー

- 11月16日(水)～
- 事後のアンケート調査を含めたアフターフォローを、ふくしま地域活動団体サポートセンタースタッフにより実施。

3. 事業の内容

(1) 事前アンケート調査

事業を開始するにあたり、県内のNPOと企業へアンケート調査を行った。

令和4年度 NPOと企業等のマッチング事業 事前アンケート集計 (対象：NPO)

○ 配布 859箇所

○ アンケート回答数 96団体 (回収率 11.2%)

○ 質問事項と集計

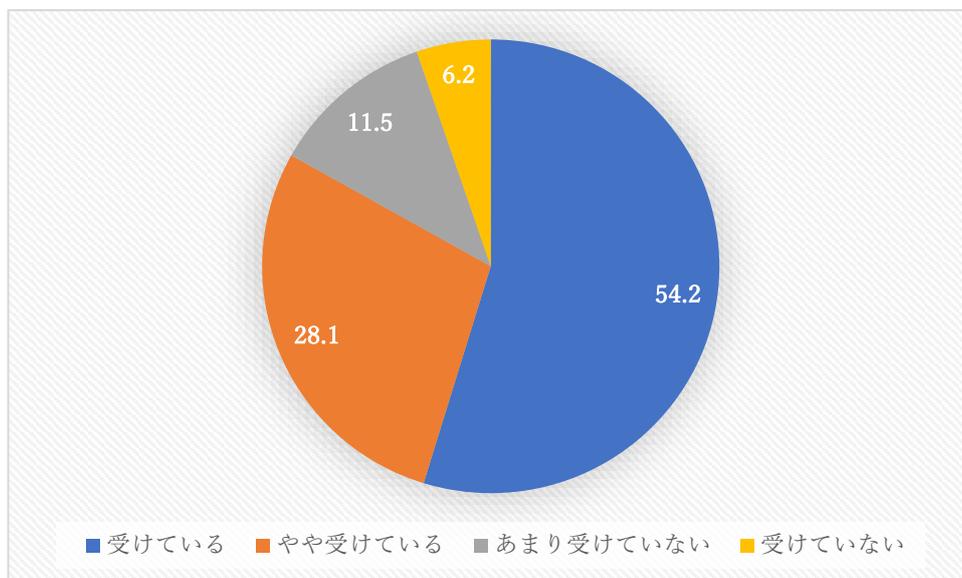
1. 近年のコロナ禍や物価高騰など、私たちを取り巻く課題によって、貴団体は影響を受けていますか？

① 受けている・・・・・・・・52件 (54.2%)

② やや受けている・・・・27件 (28.1%)

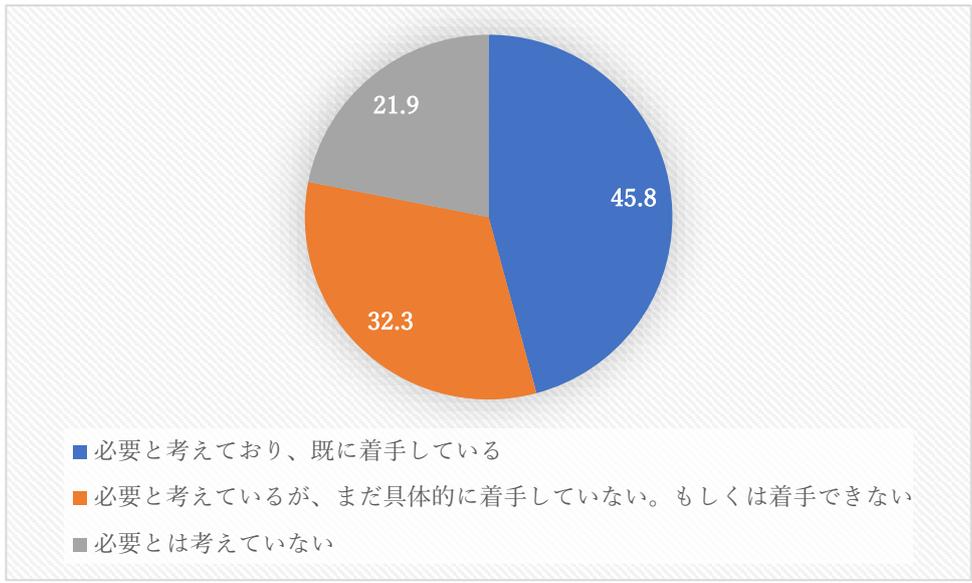
③ あまり受けていない・・11件 (11.5%)

④ 受けていない・・・・・・6件 (6.2%)



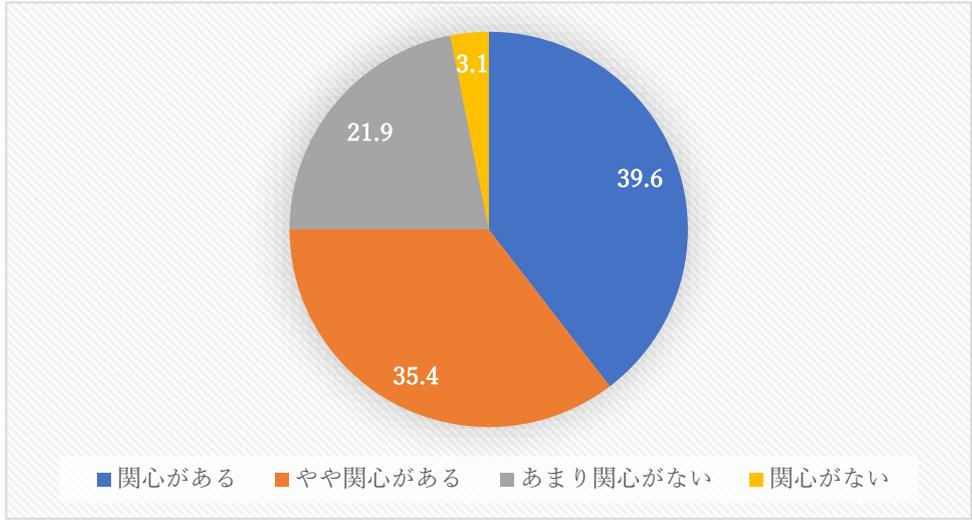
2. 貴団体は従来からの取組の変革や新事業の創出が必要と考えていますか？

- ① 必要と考えており、既に着手している。もしくは着手する予定がある。
..... 44件 (45.8%)
- ② 必要と考えているが、まだ具体的に着手していない。もしくは着手できない。
..... 31件 (32.3%)
- ③ 必要とは考えていない。..... 21件 (21.9%)



3. セクターを超えた協働(企業等との協働)に関心がありますか？

- ① 関心がある..... 38件 (39.6%)
- ② やや関心がある..... 34件 (35.4%)
- ③ あまり関心がない..... 21件 (21.9%)
- ④ 関心がない..... 3件 (3.1%)



3. セクターを超えた協働を行う場合、協働に生かせる強み、協働相手に求めたいことはありますか？

(1) 協働に生かせる強み

- ・ 企業との連携・協業の実績、アライアンス力など。
- ・ SNS での広報。
- ・ UD の専門性と活動実績。
- ・ アイデア拡大と技術。
- ・ イベントに地域産品販売等を組み合わせ、相乗効果を図りたい。
- ・ お互いの製品を販売できる、製品開発やコラボ製品作り。
- ・ グループワーク等を用いた人材育成、チームビルディング。
- ・ こども食堂のノウハウ。
- ・ さまざまな人がいるので、どんな仕事にも対応ができること。
- ・ スポーツ活動の講師紹介・派遣、スポーツ用具の貸し出し、マイクロバス貸し出しなどによる健康維持、向上。
- ・ セクターを超えた協働に関心はありますが、今まで細々とがんばって築いてきた(継続)事が切れてしまうのではないかという気持ちがあります。私たちの NPO 法人の「強み」が何か分かりません。
- ・ パソコン指導の技術、キャリア支援（各種研修やカウンセリング等）、福島市へ避難している被災者支援、子どもへの学習支援。
- ・ メイン事業に公益性を有していること。
- ・ 園芸療法・園芸福祉の知識・技術を農業高校の生徒さんに3日間の講習会を開催して、高校の教育をサポートしている。
- ・ 何をするにも範囲が広がる。新しい知識(専門)を得られる。
- ・ 企業出向等のネットワークの軽さ。
- ・ 郷土料理や新たな名物料理の開発。イベント等の音響設営。
- ・ 軽作業を行う利用者がいる。製菓や調理場が整っているため、農作物の六次化、加工なども可能。
- ・ 原発事故後の困難な状況の中で対話の場を運営し続けてきた実績、海外やアカデミアとの協働関係。
- ・ 原料となるペットボトルキャップの収集ルートが確立している。
- ・ 工賃向上につなげられる。定期的に就労ができる。
- ・ 今まで経験したことが無いような分野を経験できる。CSR との連携もできる。

- ・ フードバンク設置・運営ノウハウや仕組みのご提供。
- ・ 子ども、若者を中心に支援を必要としているところにしっかりアプローチし、様々な連携をしながら地域変革を起こせる。
- ・ 子育てに関する親子での取り組み。むし歯予防についての親子向けイベント。
- ・ 施設、事業所等の消防計画や防災計画、避難確保計画作成支援など地域防災活動の支援。
- ・ 視点の広がり。
- ・ 自然を活かした体験活動。
- ・ 漆液、17年前から里山再生活動のカーボンオフセット。
- ・ 社員研修(里山の整備)、社員の健康増進(自然観察によるリフレッシュ効果)等。
- ・ 社内研修や会議・イベント等での子ども達の一時預かりを行う。緊急だったり、0歳から18歳までの子ども達に対応している。
- ・ 集客等を目的とするイベントにおいて、お客様が滞留する、体験できるレクリエーションを提供することができる。
- ・ 将来の働き手を育てる。
- ・ 障がい者福祉事業の連絡会や難病者団体の連絡会を担っているので、そのネットワークを活用できる。
- ・ 人的パワー。ニッチな分野(スポーツボランティア)ではあるが、福島県唯一、全国的にも老舗ブランド。
- ・ 成年後見の利用促進を図る。成年後見の引き受け。
- ・ 全ては、医療、介護、福祉に関わるので、業務にも関わるので生かせると思います。
- ・ 草細工製品、お菓子(かりんとう)。
- ・ 地域に根差した活動を続けているので地域企業様と連携できればその宣伝と広報の役割を十分に果たせると思います。
- ・ 地域全体活動が出来る。
- ・ 地元企業の経済団体の福島県中小企業同友会とのネットワーク活用。農福連携による農業者や福祉作業所等のネットワーク活用。
- ・ 当方拠点(子育てひろば)で行う育児講座・イベントなどでミルクや離乳食のサンプルを配布させていただければ商品の宣伝になると思う。
- ・ 当法人のイベント(来場者三万人)を通して広く市民への広報が可能。

- ・ 働く社員さんへの福利厚生支援。アイデア立案。
- ・ 売り上げを伸ばすことができる。
- ・ 白鳥が福島市の観光に寄与していたこと。
- ・ 富山型デイサービス施設(会津地方唯一)。
- ・ 福祉や障がいに関して知識がある(利用者は障がいの特性に合わせて活動させるのが良いので、強みは一人ひとり違う)。
- ・ 保育と福祉の専門スキル、広場事業、利用者相談支援(病児、障がい児)。人材育成、セミナー開催、一次預かり。
- ・ 野外活動の知識、環境、自然に興味、関心がある大人たちがいること。
- ・ 様々なイベントを行っており、ノウハウを提供できる。
- ・ 労働力。
- ・ 清掃全般、ワックス塗布作業、お掃除のことならお任せください。

(2) 協働相手に求めたいこと

- ・ イベントでのアレルギー対応の軽食の提供。
- ・ イベントの企画、運営、参加(スポーツに限らず)。
- ・ いろんなアイデアや困っていることを教えて欲しいです。
- ・ ウィン・ウィンの関係が理想であり、こちらが福祉の立場を前面に出して協力を願いたいとはしたくないが難しい。地域の一員としてお付き合いすることから始めればいいのでは・・・。
- ・ とともにスポーツボランティア文化を創ろうという意欲。
- ・ フードバンク活動を行っているので、食料品や日用品の提供をお願いしたい。それらのものを取り扱っていなくても従業員に提供を呼び掛けるなどして提供してもらえると助かる。
- ・ プラントの提供。
- ・ レクリエーションへの認知の向上。講習会等の開催と、当然発生する講師謝金を含めた必要経費の支出。
- ・ 医療・福祉の業界が、園芸療法・園芸福祉の専門家を採用して施設の運営に役立ててほしい。
- ・ 運営に関する人手、資金。
- ・ 運営活動費補助や、イベント時の集客。
- ・ 運転、話し相手、遊び、勉強相手、企画運営の手伝い。
- ・ 学校や職場でのリベラルアーツの重要性や学習機会。

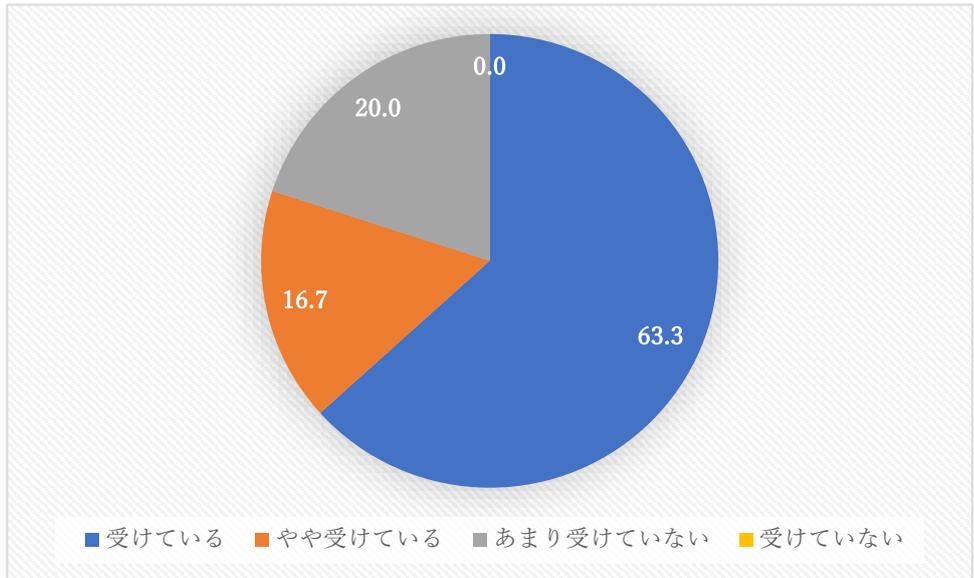
- ・ 企業の持つ、企業らしい多様な経営資源の提供など
- ・ 寄付、協賛金。ボランティア人材派遣。物資提供。
- ・ 具体的には考えていないが事業所製品の売り先等。
- ・ 現地確認。
- ・ 広場事業の支援(極少額の委託)、支援者養成強化の人件費など。現制度(市の事業)の協働事業(NPOの力を生かした成果が多い)。
- ・ 参加人数確保のための人的協力。資金的支援(寄附金等)。
- ・ 仕事の企画と提供。
- ・ 子育て中の困りごとに対応した事業所がある事を知り、応援利用を求めたい。
- ・ 資金、人を地域に投入して欲しい。
- ・ 資金面の提供など。
- ・ 持続可能な環境をつくるために興味関心があるのか。
- ・ 自然(里山)での活動なので、安全対策(服装、履物、熱中症、寒さ対策)等。
- ・ 収入が確保できる事業。
- ・ 就労時間を5時間以内が望ましい。休憩も大切と思える。
- ・ 商品開発、研究、協力、販売先。
- ・ 障がいのある方への理解。
- ・ 障がい者の就労機会(場)の提供。
- ・ 障害者雇用を1人、2人でも欲しい。
- ・ 情報、物資。
- ・ 信用力、組織力、広報力等。
- ・ 人材育成支援への協働、被災者支援に係る物品等の支援及びボランティア活動等。
- ・ 人手と資金。
- ・ 製造工程の協力(委託)。海外進出。
- ・ 請負業務を預ける場合は安定性、相手方が困っていること(企業内では製作できないがあると助かる製品など)を参考にして当事業所の今後の展開に役立てたい。
- ・ 専門的な知識とアドバイス。一緒に計画を実行してくれる人材。
- ・ 専門分野からの助言と協力。社会貢献。
- ・ 相談する場の提供。

- ・ 地域課題を理解、解決しながら一緒に歩みを進めて行きたいです！
- ・ 当法人に利益性の高い仕事をいただきたい。
- ・ 同ひろばは、災害時に乳幼児及びその母親を受け入れる避難所になっている。ミルク、離乳食、紙おむつ・生理用品などを備蓄するために対象商品をご提供いただければ大変ありがたい。
- ・ 日常的な交流と職員研修の参加。
- ・ 農福連携による農作物の販路拡大、ブランド化の協力。
- ・ 販売の機会が欲しい。
- ・ 販売先や仕入れ先の情報提供。自主製品の品質、デザイン向上等の技術指導等。
- ・ 販路、農業との連携。
- ・ 福島市街地にある隈畔という場所の良さをアピールしてもらいたい。福島の歴史に関わることを広めてほしい(奥州街道)など。
- ・ 理念ビジョンの共感。
- ・ 高齢者、子ども支援、その他各事業に参画してもらい、社会貢献の一助に期待。

令和4年度 NPO と企業等のマッチング事業 事前アンケート集計 (対象：企業)

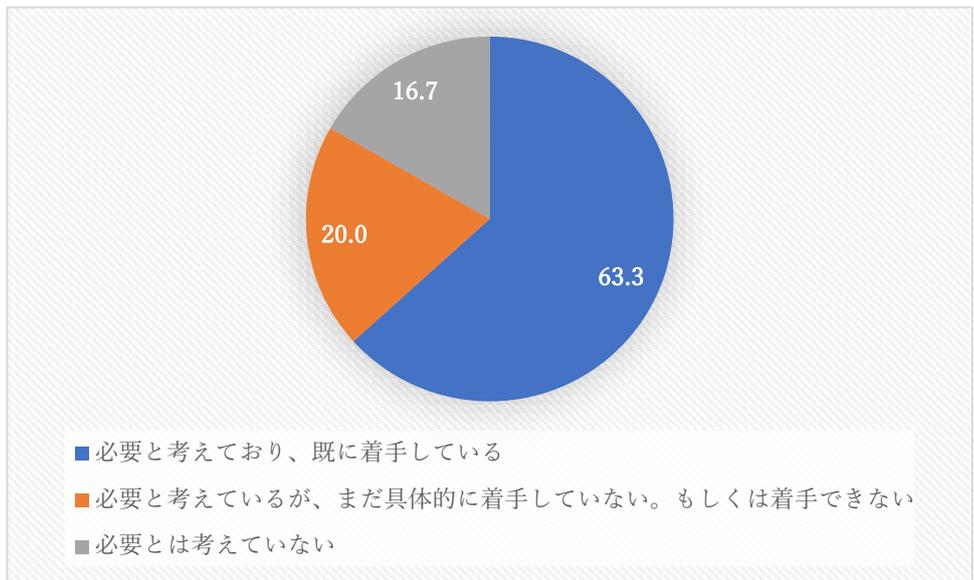
- 配布 1, 121箇所
- アンケート回答数 30社 (回収率 2.7%)
- 質問事項と集計

1. 近年のコロナ禍や物価高騰など、私たちを取り巻く課題によって、貴社は影響を受けていますか？
 - ① 受けている・・・19件 (63.3%)
 - ② やや受けている・・・5件 (16.7%)
 - ③ あまり受けていない・・・6件 (20.0%)
 - ④ 受けていない・・・0件 (0.0%)



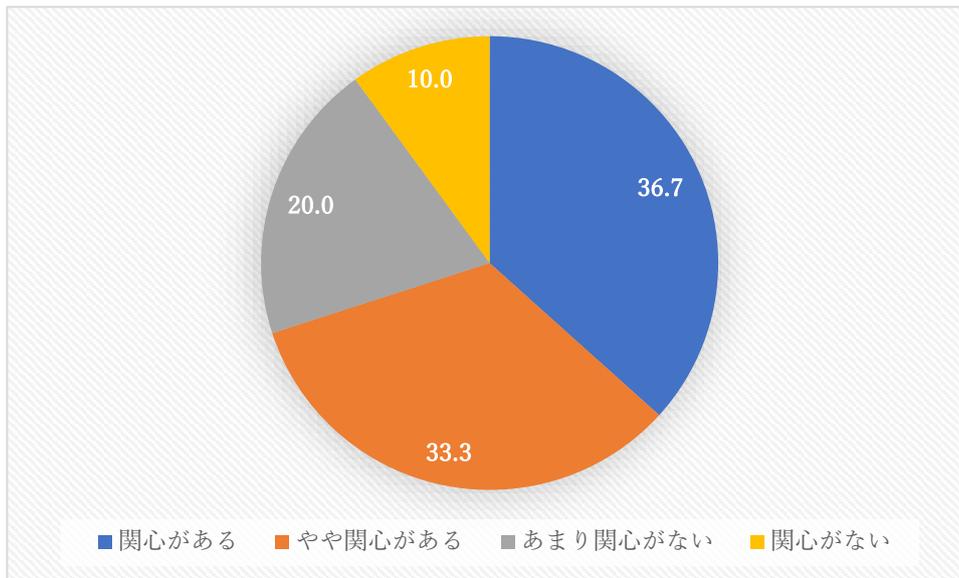
2. 貴社は従来からの取組の変革や新事業の創出が必要と考えていますか？

- ① 必要と考えており、既に着手している。もしくは着手する予定がある。
 19件 (63.3%)
- ② 必要と考えているが、まだ具体的に着手していない。もしくは着手できない。
 6件 (20.0%)
- ③ 必要とは考えていない。..... 5件 (16.7%)



2. セクターを超えた協働(NPOとの協働)に関心がありますか？

- ① 関心がある・・・11件(36.7%)
- ② やや関心がある・・・10件(33.3%)
- ③ あまり関心がない・・・6件(20.0%)
- ④ 関心がない・・・3件(10.0%)



3. セクターを超えた協働を行う場合、協働に生かせる強み、協働相手に求めたいことはありますか？

(1) 協働に生かせる強み

- ・ スーパーマーケットなど販売網。
- ・ オリジナル商品化・商品再生。
- ・ ネットワークや情報の共有。会社を守る為の保障の提供。
- ・ 音楽によるイベント開催。
- ・ 学生への学びと若者なりの発想。
- ・ 活動や事業の実施における広報での協力。
- ・ 業界内から業界外へ。酒は誰もが対象になる。飲む人は勿論、飲まない人は土産プレゼントへ。
- ・ 産業廃棄物の適正処理を通じた社会貢献や環境保護活動等の実績。
- ・ 社員教育の一貫として、お手伝いをさせて頂きたい。
- ・ 障がい者施設への作業依頼。
- ・ 脱炭素社会の中、エネルギー設備専門会社として何かできないか？
- ・ 地域づくり活動の中心的役割を担っている企業風土。

- ・ 地域に密着したメディアと人脈。
- ・ 地域内の子育て主婦や高齢者の就労、地域内の農産物生産者の生産物の利用などを受け入れる事が可能。
- ・ 地域密着。
- ・ 当社の強みである多種多様に渡る販路を活かせる。
- ・ 放送局ということを活かし宣伝関係の提案。
- ・ 連携した、地域を巻きこんだイベントや事業が出来る。

(2) 協働相手に求めたいこと

- ・ 「協創」すること。立場対等のビジネス。
- ・ ICT や IOT。
- ・ 継続的に生産出来、ある程度量を提供体制。
- ・ NPO の強みである補助事業の獲得。
- ・ マーケットを広める。
- ・ 何かお役に立てることがあれば協力したい。
- ・ 学生への金銭面の負担への理解。
- ・ 寄付を募るのではなく、” 協働 ” を意識した取組をしていただきたい。
- ・ 協働相手の事業内容の情報提供。
- ・ 施設同士のネットワークづくり。
- ・ 情報の提供。
- ・ 新しいアイデアなど。
- ・ 単なる営利法人ではなく、社会的責任を果たそうとする企業を正しく評価すること。
- ・ 同様の活動をしている他団体への当方実施事業の広報協力(口コミ的な)。
- ・ 廃棄物処理事業への認知度や理解度の向上。
- ・ 補助事業等の窓口になってもらい、地域性のある事業と一緒にやってほしい。

(2) NPO 事前講座

NPO 事前講座は、参加者のニーズに合わせて内容を柔軟に変更するために、これまでの「アプローチ講座」を「基礎講座」、プレゼン講座を「応用講座」と名称変更して実施した。

基礎講座では、主に初めて当事業に参加する団体を対象に、当事業の目的の理解を深めるとともに、今後の団体紹介のシナリオを検討するといった内容で行った。

また応用講座では、マッチング会参加予定企業のプロフィールを紹介して、参加団体がマッチング会で企業に対し「何を」「どのように」アプローチするかについて検討するように促した。また加えて、応用講座までに作成した団体紹介資料をもとにプレゼンテーションの練習を行い、他の参加者からの評価を受けて資料の修正ポイントの発見などに役立てるよう促した。

なお、団体紹介資料の作成については、ふくしま地域活動団体サポートセンタースタッフが必要に応じて個別にサポートを行った。

【NPO 向け募集チラシ】

企業等との連携・協働をサポートします

NPOと企業等のマッチング事業

参加者募集

災害やコロナ禍、長引く物価高騰などの影響により、これまでの取組の見直しや新発案を模索するNPOが増えています。こうしたNPOに企業などとの出合いの場を提供して支援をサポートするのが「NPOと企業等のマッチング事業」です。

ぜひこの事業に参加して人脈や知識を広げ、連携や協働によって新たな事業展開を目指してみませんか？

●連携・協働までのステップ

基礎講座

当社の活動のノウハウやポイントについて学びます。

- 札幌 9/21(水)
- 仙台 9/22(木)
- 東京 9/23(金)
- 金沢 9/24(土)

応用講座

マッチング会の参加企業を想定し、プレゼンテーションを準備します。

ZOOMによる講座

- 企業向け 11/25(水)
- NPO向け 11/26(木)
- 企業向け 11/29(土)
- NPO向け 11/30(日)

マッチング会

企業への近況報告と企業の方針、意向、候補のきっかけをつくります。

- 金沢 11/15(水)
- 山形 11/17(木)
- 仙台 11/18(金)
- 東京 11/22(火)
- 札幌 11/23(水)

※詳しい日程、会場は募集要項の参加申込書をご確認ください。
※応用講座ではZOOMを使用しますので、使用できる環境にない方や使用に不安がある方はご相談ください。

●連携・協働事例

【事例1】NPOが主催するパソコン講座に、IT関連企業の社員が講師として参加。
【事例2】NPOが運営することも含めて、食品メーカーが自社商品を提供。
【事例3】NPOが主催する相談会の会場として企業が協賛スペースを提供。
【事例4】NPOが行っている障がい者の木材を流したグッズづくりに、企業が自社技術で製作をサポート。

参加ご希望の方は裏面の参加申込書でお申し込みください。 **締切9月16日(金)**

主催：「福島県 全県推進員による」多子なげ 共生支援事業 NPO、企業等との連携・協力事業
事務局：ふくしま地域活動団体サポートセンター
〒960-8033 福島県福島市南郷町 福島県民会館4階
TEL: 024-523-2741 FAX: 024-523-2741
運営委託：福島県民会館 文化スポーツ推進課 文化情報課
事業協力：福島県民会館 文化スポーツ推進課 ネットワークセンター

新型コロナウイルス感染症拡大の状況などで開催日時や内容が変更になる場合があります。

令和4年度 NPOと企業等のマッチング事業

参加申込書

※参加無料

| | |
|-----------------|---|
| 団体名 | |
| 参加者氏名 (2名まで) | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | ※メールアドレスはオンライン申請に必要ですので、必ずご記入ください。 オンライン申請ができない、またはオンライン申請に不安がある方はご遠慮ください。 |
| 会場 | <p>基礎講座 時間帯：13:30～16:30</p> <p>「仙台」 9/21(水) 福島市市民活動サポートセンター 3F B-2会議室 〒980-0801 福島県福島市大町4-1-8 福島市民会館 「山形」 9/22(木) 山形市労働福祉会館 1F 第2会議室 〒980-0814 福島県山形市大町1-7 「いわき」 9/29(水) いわき産業創造館(フタバ館) セミナー室A 〒970-0802 福島県いわき市南町2-2-20 「金沢市」 9/30(金) 民間コミュニティセンター 講習室 〒952-0822 福井県福井市本町1-1-47</p> |
| | <p>応用講座 ZOOMにて実施(URLは日程が近付いたらお知らせします)</p> <p>「金沢市市民会館」 11/21(水) 10:00～12:00 「福島市民会館」 11/22(木) 14:00～16:00 「山形市民会館」 11/23(金) 10:00～12:00 「いわき市民会館」 11/24(土) 14:00～16:00</p> |
| | <p>マッチング会 時間帯：13:30～16:30</p> <p>「金沢市」 11/15(水) アビオスペース1F 大会議室 〒950-0095 福井県福井市南町2-2-20 「山形」 11/17(木) Iwata Toriyama 2F 研修室 〒983-0873 福島県山形市大町4-1-2 「いわき」 11/22(火) いわき産業創造館(フタバ館) 企業展示ホールA 「仙台」 11/23(水) 福島市市民活動サポートセンター 会議室A</p> <p>※複数の会場にご参加いただけます。 ※定員：各会場とも25名</p> |

※参加希望の講座、マッチング会の日にチェックを入れてください。

■申込締切 **9月16日(金)** ※各会場の取組人員の都合により、定員になり次第締め切らせていただきます。

■申込方法
①[FAXでの申込] この参加申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。
FAX (024)523-2741
②webでの申込] QRコードより専用フォームにアクセスいただき、ご入力ください。
■お問合せ 福島県地域活動団体サポートセンター 担当：山田
業務提携電話 **080-9637-6139**



【基礎講座】

- ① 9月21日(水) 福島市市民活動サポートセンター(福島市)
- ② 9月22日(木) 郡山市労働福祉会館(郡山市)
- ③ 9月29日(木) いわき産業創造館(いわき市)
- ④ 9月30日(金) 鶴城コミュニティーセンター(会津若松市)

講座の内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ 事業の説明、マッチングの事例紹介
- ・ ワークシートの作成(団体紹介のシナリオ作り)
- ・ 作成したワークシートを踏まえたプレゼンテーションの実践練習

参加団体

- ① 福島市
NPO 法人 保原中央自治振興会
一般社団法人 オープンデータ・ラボ
- ② 郡山市
NPO 法人 コーヒータイム
NPO 法人 子育て支援コミュニティプチママン
- ③ いわき市
NPO 法人 なこそ授産所
NPO 法人 日本予防医学総合研究所
- ④ 会津若松市
NPO 法人 かけはし
一般社団法人 塩川なまずの里の会

基礎講座資料(ページ抜粋)

令和4年度NPOと企業等のマッチング事業

基礎講座

① 事業の目的や流れについて
② 団体紹介
～ストーリー作りと資料作成～

ふくしま地域活動団体サポートセンター

①事業の目的や流れについて

ふくしま地域活動団体サポートセンター(サポセン)とは？

福島県内の、NPOなどによる地域貢献活動を支援する県設置の組織
(認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターが県より委託して運営)

(主な事業)

- ・ ニュースレターの発行やHPによる情報発信
- ・ 学生のNPOでの活動体験(インターンシップ)の仲介
- ・ 相談対応やNPOと専門家(税理士、社会保険労務士、司法書士など)の紹介
- ・ ふるさと・きずな維持・再生支援事業(助成金)の事務局業務
- ・ 各種講座(会計、組織運営、広報、SNSなど)の開催
- ・ **NPOと企業等のマッチング仲介**

NPOと企業等のマッチング事業

NPOと企業等のマッチング事業とは？

〈事業の目的〉 NPOの運営支援の一環として、NPOの企業等との**連携・協働事業の創出**を促進する

震災やコロナ禍などによる社会課題の複雑化、住民のニーズや価値観の多様化

NPO

- ・ 従来の事業の継続への不安
- ・ 新たな事業展開への期待の高まり

企業等

- ・ 従来の事業の継続への改善
- ・ 企業経営の方針転換(ESG)への圧力

連携・協働

お互いの強みの相互利用、強みの補充
異なる価値観や行動様式を持つ主体からの気付きや学び
新事業への展開

連携・協働までのプロセス

「NPOと企業等のマッチング事業」でのプロセス

基礎講座
応用講座

自団体の紹介

企業との対話

コミュニケーションの継続、強化

信頼関係の構築

連携・協働へ

マッチング会

マッチング会後の取組

理解

共感・賛同

信頼関係

NPOと企業等のマッチング事業の流れ

NPO

基礎講座
※企業と共通の、団体紹介の
学びを学ぶワークショップ

応用講座
マッチング会に参加する企業を前提に、
連携・協働のイメージを持つためのワークショップ

企業

情報交換会
マッチング会参加NPOの専門家(会計士、税理士)の相談を目的とした講
義形式と、連携・協働のイメージを持つためのワークショップ

マッチング会
NPO企業による対話、事業紹介～個別対話

連携・協働へ
必要に応じて、サブコンテンツにより仲介、助成

マッチング会の流れ

前半

ボランティア

後半

個別対話

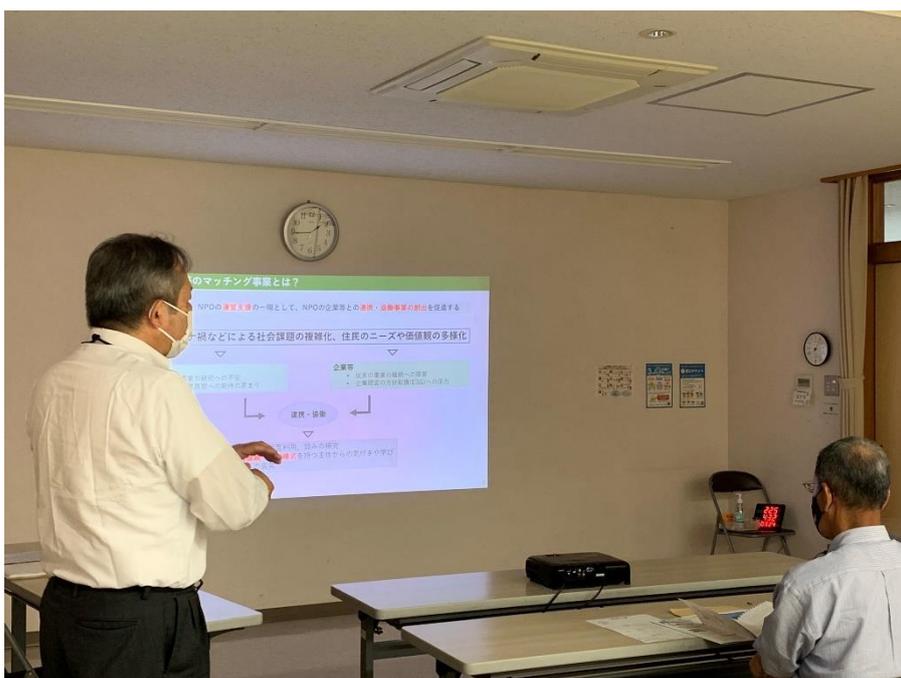
NPOと企業の連携事例-1

| | | |
|---------|--|---|
| 事例の概要 | NPOが運営する子ども食堂への企業の参画。 地域の子どもを居場所づくりを目的にNPO法人ビーンズふくしまが運営する子ども食堂「よしいだキッチン」に企業が運営に全面協力をし、子どもの体験の場を提供することで十分なマンパワーが確保され、スムーズな運営が可能になった。 | |
| 連携主体 | NPO法人ビーンズふくしま(福島市) | 有限会社郡山島田海苔店(郡山市 海苔の産地) |
| それぞれの役割 | 福島市の吉井田学習センターで、2018年7月より定期的に子ども食堂「よしいだキッチン」を主催。ビーンズふくしまは県内にあり地域の子どもを居場所づくり、フリースタイルの運営、震災で避難した子どもの学習支援などを行っており、その実績と信頼を踏かしてこの事業の企画運営全般を担っている。 | 地域貢献や地域とのつながりを重視する経営を行う(有限)郡山島田海苔店が、全国的に「よしいだキッチン」の運営をサポート。また白社海苔材である海苔を提供し、料理づくりや焼き海苔のワークショップの開催に協力した。 |
| 成果 | それぞれの強みを生かすことで子ども食堂のスムーズな運営が実現していることに加え、ビーンズふくしまが目指す、様々な団体との連携による子ども食堂の地域展開や、郡山島田海苔店が輩出する地域貢献者として、子ども達が海苔という文化に触れる機会の前出など、主催者・参加者それぞれにメリットのある事業になっている。 | |

講座の様子



■ 郡山会場の様子



■ 会津若松会場の様子

【応用講座】

- ① 11月2日(水) 10:00～12:00 会津若松会場参加者向け
 - ② 11月2日(水) 14:00～16:00 福島会場参加者向け
 - ③ 11月4日(金) 10:00～12:00 郡山会場参加者向け
 - ④ 11月4日(金) 14:00～16:00 いわき会場参加者向け
- Zoomによるオンライン開催

講座の内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ マッチング会の流れの説明
- ・ 参加予定企業の紹介
- ・ 参加団体による団体紹介リハーサル
- ・ 修正ポイント等についての議論

参加団体

- ① 会津若松会場参加者向け
 - 一般社団法人 塩川なまずの里の会
 - 一般社団法人 fukucier
- ② 福島会場参加者向け
 - NPO 法人 ビーンズふくしま
 - 一般社団法人 オープンデータ・ラボ
- ③ 郡山会場参加者向け
 - NPO 法人 コーヒータイム
 - NPO 法人 コースター
- ④ いわき会場参加者向け
 - NPO 法人 なこそ授産所
 - NPO 法人 日本予防医学総合研究所

応用講座資料(ページ抜粋)

令和4年度
NPOと企業等のマッチング会

17
H24.10.10

応用講座

ふくしま地域活動団体サポートセンター

参加企業プロフィール

株式会社布分(ぬのぶん) 部 会 い 福

| | |
|---------|---|
| プロフィール | 所在地 〒965-0861 福島県会津若松市日新町12-9 代表者 代表取締役 佐藤 昌利 |
| 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 会津塗、会津漆器の企画～販売 ■ 製造は提携する職人へ委託。職人の育成なども目指す。 |
| その他コメント | <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和2年度より当事業に参加。令和2年度、3年度とも、当事業において参加NPOとコラボ商品制作 ■ 会津塗や会津漆器関連の老舗企業。現社長は6代目。 ■ 取引先は県内各地や東京などの大手百貨店等、幅広く活動。 |





喜多方シティFM株式会社 <https://www.truss-home.jp/> 部 会 い 福

| | |
|---------|--|
| プロフィール | 所在地 〒966-0097 福島県喜多方市字通船場19番地 代表者 代表取締役 竹田 浩介 |
| 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■ FM放送 ■ 映像制作やライブ配信、各種WEBサービス |
| その他コメント | <ul style="list-style-type: none"> ■ 喜多方市に拠点を置くコミュニティFM ■ 放送以外に、サイト構築やコンピュータプログラムの制作などの事業展開を行っている。 |



有限会社 白水堂 <https://mph-kitakata-hakusuidou.amebaownd.com/> 部 会 い 福

| | |
|---------|---|
| プロフィール | 所在地 会津若松市米代二丁目2-5 代表者 代表取締役会長 小林明人 |
| 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽関連商品(楽譜、楽器関連商品、音楽テキストなどの販売) ■ ヤマハ音楽教室の運営 |
| その他コメント | <ul style="list-style-type: none"> ■ 当事業には、令和元年度より参加 ■ 会津若松と喜多方に拠点あり。音楽教室を展開。 |



株式会社喜多方ラーメン本舗 <https://www.kitakata-ramen.jp/> 部 会 い 福

| | |
|---------|--|
| プロフィール | 所在地 〒966-0014 福島県喜多方市関楽町西勝手井戸尻48番地2 代表者 代表取締役社長 高橋 弘之 |
| 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 喜多方ラーメン(生麺)の製造 ■ 喜多方ラーメン(生麺)の卸・通販等による販売 |
| その他コメント | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度初参加 ■ 地産地消を重視し、商品開発。そこからも、地域課題や地域でどんな活動が行われているか知りたいとのこと。 |




株式会社宝来屋本店 <https://www.e-horaiya.com/> 部 会 い 福

| | |
|---------|---|
| プロフィール | 所在地 〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保54-2 代表者 代表取締役社長 柳沼 広昌人 |
| 主な事業内容 | 事業分野 食品業 <ul style="list-style-type: none"> ■ 味噌の製造販売 ■ 甘漬、粽などの製造販売など |
| その他コメント | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度初参加。 ■ ネット通販や海外展開など販路を拡大。 ■ 一方で店舗から地域の子どもの通の工場見学を受け入れるなど、食についてのこだわりや食についての重要性をアピールしている。 ■ 近年、食品ロスの観点から子ども食堂とのタイアップも検討中。地域貢献という意味でも何か役に立てればという想いが強い。 ■ 郡山市の総合体育館のネーミングライツを取得。 |



トラスホーム株式会社 <https://www.truss-home.jp/> 部 会 い 福

| | |
|---------|--|
| プロフィール | 所在地 〒963-8845 郡山市名倉276-1 代表者 代表取締役 古川 広毅 |
| 主な事業内容 | 事業分野 不動産、建築 <ul style="list-style-type: none"> ■ 不動産の売買、賃貸 ■ レンタルスペース、カフェスペースの運営 |
| その他コメント | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度初参加。 ■ 引きこもりの自立支援を行うNPO法人を連携し、就労の受け入れなどを行っている。 ■ 住まいを通して、誰もが住みやすい地域のためにという想いが強い |



(3) 企業との情報交換会

企業との情報交換会は、マッチング会参加予定の企業の中で希望者を対象に、一昨年度から実施している。今年度は、マッチング会の流れや参加予定のNPOの事業内容、過去の当事業における連携事例の紹介を説明した。また把握している範囲で、参加NPOがマッチング会に臨むにあたっての目的や期待なども伝え、連携・協働のイメージの醸成を促した。

なお、今年度も昨年度に引き続き、Zoomを活用したオンラインで実施した。

日時：令和4年11月11日(金) 14:00～16:00

Zoomによるオンライン開催

情報交換会の内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ マッチング事業およびマッチング会の説明
- ・ 参加予定NPOの紹介
- ・ 意見、感想

参加企業

株式会社 布分

ikkohG's office

株式会社クレハ環境

株式会社こんの

喜多方シティアエフエム株式会社

【参加者の意見、感想】

- ・ NPOの活動が理解できた。
- ・ これまで連携したことがあるNPOも参加するようだが、しばらく接触が無かったので近況なども聞きながらコラボを考えたい。
- ・ 自社が参加する会場以外のNPOとのコラボも考えてみたい。
- ・ 今回、色々と勉強になりそうに思える。

- ・ 福祉関連のNPOが多いようだが、地産地消に関わる事業を行うNPOにも興味がある。
- ・ もう少しNPOの参加が多いと良いが。
- ・ 当日までに具体的な連携イメージを考えてみたい。
- ・ 関心のあるNPOとのみ対話するのかと思っていたが、この方法でも良いと思う。
- ・ 後日で構わないので、連携事例についてももう少し詳しく教えて欲しい。
- ・ 以前参加したことがあるが、その時にもNPOと連携が出来たので、今回も楽しみにしている。

【企業向け募集チラシ】

NPOと企業等のマッチング事業のご案内

**ビジネスと社会貢献の両立を目指す皆様に
NPOとのマッチングをサポートします**

私たちの町にはどんな課題があるのだろうか？またその解決策は？

社会貢献を通じ、地域とともに成長を目指す企業が増えています。また、大規模災害やコロナ禍、物価の高騰などによる社会課題の解決をビジネスチャンスと捉えて新たな事業展開を目指す企業も年々増加しています。そのような企業に県内のNPOを紹介し、交流・連携の機会を提供するのが「NPOと企業等のマッチング事業」です。

NPO ← → 企業

社会課題の解決 社会貢献 自社の成長 新たな事業展開

福島県では東日本大震災をきっかけにNPO法人が急増し、現在も多くの団体が**子ども食堂やフードバンク、地域コミュニティづくり**など、暮らしやすいまちづくりや社会課題の解決を目指した取組を行っています。

地域に根差し、きめ細かく社会貢献に取り組むNPOとの連携を通じ、新たな事業展開を目指してみませんか？

参加お申込みは裏面をご参照ください。

●連携・協働事例

【事例1】NPOが主催する高齢者向けスマホ講座に、IT関連企業の社員が講師として参加。
【事例2】NPOが運営することも食堂に食品メーカーが自社商品を提供。またボランティアとして参加。
【事例3】NPOが主催する相談会の会場として企業が店舗スペースの一部を提供。
【事例4】NPOが行っている地元の木材を活用したグッズづくりに、企業が自社技術で製作をサポート。

NPOと企業等のマッチング事業 参加申込書

参加無料

当事業にお申込みの皆様には、11月の中～下旬に行われる「マッチング会」へご参加いただけます。マッチング会では、NPOによる団体紹介とNPOとの直接対話を行うことができます。また、マッチング会に先立ち、事務局から参加NPOのプロフィールをご紹介する「情報交換会」を、Zoomを利用して実施します。

■ マッチング会までのステップ

参加お申込み

情報交換会
マッチング会参加NPOの紹介
(Zoomにて)

マッチング会
(県内4か所)

| | |
|---|--|
| 企業名 | |
| 参加者氏名 (2名まで) | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス <small>(お知らせや情報交換会で使用します)</small> | |
| 情報交換会 11/11(金) 14:00～16:00 Zoomにて実施(URLは日程が近付いたらお知らせします)。 | |
| <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加 <small>※オンライン会議ができる環境がない、またZoomの使用に不安がある方はご相談ください。</small> | |
| マッチング会 時間帯はすべて、13:30～16:30 参加ご希望の会場にチェックを入れてください。 | |
| <input type="checkbox"/> 会津若松 11/15(火) アピオスペース1F 大会議室 〒965-0059 福島県会津若松市インナー百90 | |
| <input type="checkbox"/> 郡山 11/17(木) ko-ba Koriyama 2F 研修室 〒963-8023 福島県郡山市緑町9-12 | |
| <input type="checkbox"/> いわき 11/22(火) いわき産業創造館(トブ6F) 企画展示ホールA 〒970-8026 福島県いわき市平字田町120 | |
| <input type="checkbox"/> 福島 11/25(金) 福島市民活動サポートセンター 会議室A 〒960-8043 福島県福島市大町4-1-5 チェンバおおまち | |
| <small>※複数回の会場にご参加いただけます。 ※定員：各会場とも25名</small> | |
| ■申込締切 10月31日(月) ※会場の収容人数の都合により、定員に限り次第締め切らせていただきます。 | |
| ■申込方法 ①[FAXでの申込] この参加申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。 FAX (024)523-2741 ②[webでの申込] 右のQRコードより専用フォームにアクセスいただき、ご入力ください。 | |
| ■お問合せ ふくしま地域活動団体サポートセンター (担当: 遠山) 電話 080-9637-6139 | |

NPOと企業等のマッチング事業

主催/福島県 令和4年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業 NPO、企業等との連携・協力事業

事務局/ふくしま地域活動団体サポートセンター
〒960-8043 福島県福島市甲府18番2号 福島県自治会館7階
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741
運営委託/福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課
運営委託/認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

情報交換会資料(ページ抜粋)

| | |
|--|-------------------------|
| <p>令和4年度 NPOと企業等のマッチング会</p> <p style="text-align: right;">17 17年度 17年度</p> <h2 style="text-align: center;">企業情報交換会</h2> <p style="text-align: center;">① マッチング会の流れ ② 会場案内 ③ マッチング会参加NPOの紹介</p> <p style="text-align: center;">ふくしま地域活動団体サポートセンター</p> | <h1>マッチング会 の流れ</h1> |
|--|-------------------------|



1. オリエンテーション



マッチング会の冒頭で、事業の目的、当日の流れ、注意事項などを説明

2. 団体紹介



NPOより、団体の目的や具体的な取り組みを説明するとともに企業へのメッセージなどについてのプレゼンテーションを行う
1団体あたり7~8分程度

3. 企業による自社紹介



企業より、自社紹介を1社あたり3~5分程度で行う(その場で)

4. 個別対話



NPOと企業が向かい合って、1対1の対話を行う。10分ほど対話したら企業が隣の席に移り、全員が対話できるようにする。

会場案内

(4) NPO と企業とのマッチング会

■ 実施概要

「NPO と企業とのマッチング会」は、11月15日から同25日にかけて、県内4会場で実施した。

形式は昨年度同様、まずNPOが団体紹介を行い、取り組んでいる地域課題や連携ニーズについて企業に情報提供した。続いて今年度は参加企業からの事業紹介を加え、マッチング会への参加の目的や提供できるリソースなどについて情報提供を行った。後半は従来通り、NPOと企業が1対1で対話する時間を設けた。

今年度からは、行政とNPOの協働を推進するために、県の各地方振興局の職員も参加した。

■ プログラム

- ① 開会、マッチング会の趣旨および進め方の説明
- ② 参加者自己紹介
- ③ NPOによる団体紹介
- ④ 企業による事業紹介
- ⑤ 個別対話
- ⑥ 今後のアフターフォローの説明、閉会

■ 各会場の実施状況

【会津若松会場】

日時：令和4年11月15日(火) 13:30～16:30

場所：アピオスペース 大会議室(会津若松市)

参加NPO

一般社団法人 fukucier(ふくしえる)

一般社団法人 塩川なまずの里の会

NPO 法人 かけはし

NPO 法人 わくわく奥会津.COM

参加企業等

喜多方シティエフエム株式会社
株式会社 布分
株式会社 喜多方らーめん本舗
合同会社 ジーアール福島
株式会社 日本政策金融公庫(会津若松支店)

福島県

会津地方振興局

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ 素晴らしい機会をありがとうございます。
- ・ 知らなかった団体や企業様とつながりを持てたことがありがたいです。
- ・ 色々な方と交流が出来、大変良い時間でした。
- ・ とても勉強になりました。

〈企業等〉

- ・ 今までにない出会いだだったので、可能性を感じた。
- ・ NPOの方と知り合いになれて、とても良かったです。
- ・ NPOの方と初めてマッチングさせていただきましたが、とても有効な時間となりました、何かお役に立てることがありましたら、ご連絡いただければと思います。
- ・ NPOの皆様だけでなく、様々な企業の皆さんとも貴重なお話をさせていただきました。
- ・ NPOの皆さんの熱意に圧倒されました。とても勉強になりました。

マッチング会の様子



NPOによる団体紹介



個別対話の様子

【郡山会場】

日時：令和4年11月17日(木) 13:30～16:30

場所：11月17日(木) co-ba koriyama 研修室(郡山市)

参加NPO

NPO 法人 ビーンズふくしま(郡山事業所)

NPO 法人 コーヒータイム

NPO 法人 コースター

一般社団法人 fukucier(ふくしえる)

参加企業等

ikkohG's office

トラスホーム株式会社

郡山飲食業組合

ファーストメンテナンス

株式会社 日本政策金融公庫(郡山支店)

福島県

県中地方振興局

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ ご親切な方ばかりで参加して良かったです。
- ・ 様々な業種の方とお話が出来て有意義でした。
- ・ 時間的には仕方がないとは思いますが、NPO 同士の交流もあるとよろしいかと思います。
- ・ とても有意義な時間でした。私たちの活動に心を寄せてくださる企業様に出会えました。アドバイス下さった企業さんもありありがとうございました。
- ・ こういう機会がもっと増えればよいと思います。
- ・ NPO の方、企業の方、本当にそれぞれのカタチからご一緒できる大きな可能性に心がとてもドキドキしました。改めまして本日はありがとうございました。そして今後とも「これから」に向かいどうぞよろしくお願ひ致します。

- ・ 他の NPO 法人も色々な事業があるなあと改めて知った。業種は違っても通じるものがあると思った。

〈企業等〉

- ・ 今日の出会いが始まりですので、これから情報交換など細く永くつながっていただければと思います。
- ・ 普段接することが無い NPO の方と話をすることが出来、様々な課題があることを認識させられた。行政、NPO、企業といろいろな形での連携が必要と感じた。
- ・ 本組合でスタートする子ども食堂について NPO と連携できるヒントをいただきました。企画していただいた関係者に感謝を申し上げます。
- ・ NPO 法人と企業とのマッチングする機会が少ない中、このような企画はとても良いと思います。

マッチング会の様子



NPO による団体紹介



企業による事業紹介

【いわき会場】

日時：令和4年11月22日(火) 13:30～16:30

場所：いわき産業創造館 企画展示室 A(いわき市)

参加 NPO

一般社団法人 Teco

認定 NPO 法人 なこそ授産所

NPO 法人 日本予防医学総合研究所

プラクーチェ

参加企業等

株式会社 クレハ環境

いわき信用組合

合同会社 ジーアール福島
株式会社 日本政策金融公庫(いわき支店)

福島県

いわき地方振興局

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ 当法人の活動を多くの方に知ってもらえることが出来て良かった。メディア等で発信していたつもりだったが、もっと様々な形でPR 広報していけたらと思う。
- ・ 人と人とのつながりが一番。顔を合わせて対面で話せたのが良かった。
- ・ 自分たちの団体がどんなことが出来るかが準備不足だった。とても勉強になりました。
- ・ 本日はありがとうございました。プレゼンテーションは不慣れでありましたが、その後の個別対話では話も進み充実した時間でした。場数をこなしていきたいと思います。
- ・ たくさんの方とお話が出来て、周知の仕方やどんなことが出来るのかといったヒントをたくさんいただきました。

〈企業等〉

- ・ お金を出すだけが金融機関ではない。情報提供、共有のハブになりたいと感じた。
- ・ 地域の課題に取り組み皆様の意見をお聞きできる機会となりました。
- ・ どの団体様も課題やお悩みが明確に整理されており、共有が進みました。
- ・ 企業側としてどんなご協力出来るのかを具体的にイメージしやすかった。
- ・ NPO 様のご紹介がとても分かり易く、何を伝えたいのかなど心に響きました。目がキラキラしていて素敵でした。
- ・ NPO の皆さんから「いろいろ活動したいが資金が厳しい」「活動内容をPR したい」「障がい者就労の内職が減っており大変苦勞している」など様々な意見、声をうかがうことができ、大変有意義でした。

- ・ これまでかかわりのなかった団体と話すことのできる貴重な時間となりました。支援できる制度のPRとなり、支援につなげられたらと思います。

マッチング会の様子



NPO による団体紹介



個別対話の様子

【福島会場】

日時：令和4年11月25日(金) 13:30～16:30

場所：福島市市民活動サポートセンター A, B 会議室(福島市)

参加 NPO

NPO 法人 ビーンズふくしま(福島事業所)

NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会

NPO 法人 市民活動ネットワーク相馬

一般社団法人 fukucier(ふくしえる)

一般社団法人 オープンデータラボ

NPO 法人 エフ・スポーツ

参加企業等

伊達貨物運送 株式会社

株式会社 高正

株式会社 このの

株式会社 ハッピーケア

株式会社 セキセイ

株式会社 ニューメディア

株式会社 日本政策金融公庫(福島支店)

福島県

相双地方振興局

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ 新たな可能性を感じる素敵な出会いをありがとうございます。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 数社より「合理的配慮」の勉強会に参加したいとの要望があり、来春あたりに計画していきたいと思う。
- ・ 多くの企業の方と障がい者支援について話をするのができ、大変良かった、中には当会が経営する食堂に「食べに行きます」と言っていたり、今後交流が深まりそうである。
- ・ 貴重なつながりと出会いをたくさんいただきました。
- ・ 貴重なつながりと出会いをたくさんいただきました。ありがとうございます。
- ・ 普段お会い出来ない企業の方と話が出来、今後の活動につながりそうなこともあった。次回また参加できる機会があれば参加した。
- ・ 企業で働くスタッフのモチベーション維持のために苦心されている様子が良く分かった。
- ・ 経営課題の解決と社会課題の解決、CSV や SDGs 的取組としてコーディネーターできると良い案件がかなりあった。

〈企業等〉

- ・ 企業としての取組を今後考えるきっかけになり、大変参考になった。
- ・ 連絡したい NPO 様もおりましたので、今後お話を つめていきたい。
- ・ 改めて「共働」ということを考えました。
- ・ 色々な話が聞けて参考になりました。NPO と一緒に出来そうな活動がありそうだと思います。
- ・ 今回初めて会話をさせていただいた NPO の方々との出会いに、何か新しい活動が出来ればと思いました。

- ・ 今回初めて参加させていただきました。団体と企業のマッチングについては地道な作業かと思いますが、今後新しい出会いがあるかと期待しています。
- ・ 広がりのある話をすべてのNPO様とさせていただきました。貴重な時間をありがとうございました。
- ・ 地域課題を企業とNPOさんと力を合わせてマネタイズしていく仕組みを作っていければ良いなと思いました。

マッチング会の様子



NPOによる団体紹介



個別対話の様子

参加 NPO のプレゼン資料

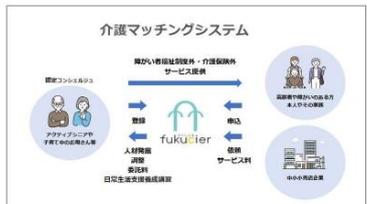
[一般社団法人 fukucier(発表用)]



長生きしても、何もいいことなんてない



公的サービスの補完的役割ができる仕組みが必要



在籍コンシェルジュ

○保有資格
介護福祉士 福祉有資格 看護部 理学療法士 介護支援専門員 社会福祉士 精神保健福祉士 福祉施設長 福祉推進士 養育員 介護士 福祉住居コーディネーター 保健士 社会保険労務士 行政書士 インテリアコーディネーター PCインストラクター

○登録地域
金沢府中市 福山市 伊予市 喜多市 金津美穂町 金津坂下町 郡山市 藤岡市 二本松市 田村市 いわき市 白河市 霞取村 白河市

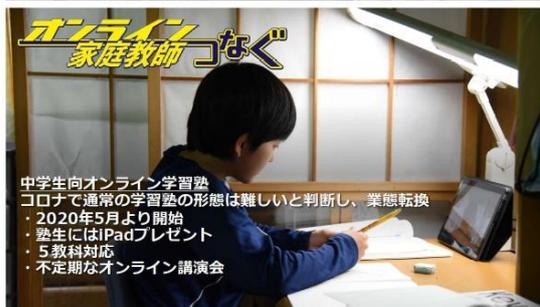


できることがあれば、ぜひ教えてください

fukucier
福山市内 0242-93-7272

fukucier

[NPO 法人 かけはし]



創業支援セミナー運営

- ・起業・創業したい人向けセミナー
- ・コロナ対策として、オンライン実施
- ・講師もオール地元人

R2年度 32名参加
R3年度 24名参加
R4年度 21名参加

Coworking space Kabanuki 自習室事業



- ・現在DIYで改装中、3月完成予定
- ・クラウドファンディング
160万円の寄付を集めました

※イラストはイメージです



[一般社団法人 塩川なまずの里の会]



塩川なまずの里の会とは？

私たちは、金鯱(こんなまず)物語を通して町おこしをするため、喜多方市塩川町で活動している団体です。

喜多方市塩川町とは？

- ・会津盆地のほぼ中央にあり、江戸時代より舟運の中心だったことから現在も交通の要衝である。
- ・交通などの利便性を求め、近隣地域からの移住者が多い。その結果、子どもも増加する地域となっている。
- ・子どもを含め人口は増えているが、商店街には人通りが少なく閉店した店も多い

私たちが町興しに懸ける思い

- ・子ども達が将来にわたって町に関われるように、産業や働く場所を創りたい。
- ・町外から多くの人を訪れ、町に関わってもらえるように町の産品を活用した商品や料理の開発、また来訪者が立ち寄れる場所を創りたい。

塩川町は楽しいわくわくする。
塩川に住んでよかったなあ。
金鯱の物語の舞台、塩川町。

町に住んでいる人や町を訪れた人が、こんなふうに思える町を創りたい！

活動事例① 「1びきのなまず」の読み聞かせイベント開催

塩川町は、江戸時代から舟運の要衝として栄えてまいりました。川によって栄えてきたこの町を舞台として、私たちは「金鯱(こんなまず)」をシンボルキャラクターとした創作絵本「1びきのなまず」を制作しました。

絵本は地元の福島県立テクノアカデミー会津・観光プロデュース学科(短期大学の学生の皆さん)の協力を得て制作しました。更にテクノアカデミー会津のみなさんと共同で絵本の読み聞かせを喜多方市図書館や地元の児童クラブ館で行ったり、Youtubeで読み聞かせ動画を発信するなどの取組を行っています。

また、塩川幼稚園の園児による塗り絵の展示会を塩川物産館「川番所」で行うなどのイベントも開催しています。

活動事例② グッズ・企画商品の製造・販売

創作絵本「1びきのなまず」に登場するキャラクター「金鯱(こんなまず)」を使った様々な商品を作成・販売しています。商品は地元の産品を活用したり、塩川町に設置された福島県立テクノアカデミー会津の学生やしもと企業との協力で制作・販売また広報などを行っています。

のれんちよ
テクノアカデミー会津・観光プロデュース学科と連携し、地元の産品を活用した商品を開発し、販売しています。

金鯱フィギュア
創作絵本「1びきのなまず」のキャラクター「金鯱」をモチーフにしたフィギュアを開発・販売しています。

金鯱の刺繍入りマスク
会津産の生地を使用したマスクを開発・販売しています。

活動事例③ 町興しに関する情報の提供

町興しに関する取り組みを、広く発信しています。これまで、福島中央テレビのゴジてれChu!で「のれんちよ」を取り上げていただいたり、福島民権、福島民友などの地元紙や喜多方市の喜多方シティFMなど、様々なメディアで私たちの取組を紹介してまいりました。また、金鯱の物語や町のお店、観光名所をキャラクターで紹介する五版の制作、SNS(ブログやYouTubeなど)による塩川町の歴史の発信なども手掛けています。

「1びきのなまず」の福島民権への掲載

「ゴジてれChu!」取材の様子

活動事例④ 川をモチーフにした町興しやテーマパークの建設

日本は少子高齢化が進んでいますが、塩川町では子どもが増えています。子どもや若者にワクワクを覚え、共感を抱かせるものを、町内の御旗塚公園とコラボなどによって作り上げていきたいと考えています。

舟運のまち塩川を思わせるまた金比羅神社を生かした町興しを目指す。

日徳川に隣接し、会津藩主の行楽地で、鹿狩場でもあった御旗塚公園。現在はフメイシヨノや花菖蒲が咲き誇る市民緑地の場となっている。

活動事例⑤ 地元産品や開発商品を販売する施設の設置

塩川町で「会津みそ」や「のれん漬け(みそ漬け)」などを製造・販売する松本商店と連携し、店舗の一角を利用して「のれんちよ」や「金鯱のフィギュア」などを販売している。

フィギュア販売

今後は、この場所に地元の農家などにも出品してもらい、地域住民や塩川を訪れた観光客が立ち寄れるスポットにしていく計画も立てている。

企業の皆様へ

私たち

- ・ 商品開発や販売
- ・ 町興し
- ・ イベント

などと一緒に
やってみませんか？
ご協力いただける企業様を大募集します！！

一般社団法人塩川なまずの里の会
福島県喜多方市塩川町字中町1906番地
<https://shioyama-namazu.net/>

団体概要

2022年 11月



Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.

コースターにかける3つの想い

(1) コップの下に置くコースターのように、多くの人々の受け皿になれるような団体になる。

(2) コースターのスペルはcostar。分解すると"co"と"star"。関わる人と『共に、星になれる』または『共に、輝ける』ような場をつくる。

(3) コースターのスペルはcostar。意味は『共演する』。様々な人がつながっていけるような場を作る。

上記の想いを元に、福島で活動する人を増えるような場づくりを行っています

Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.

団体概要

活動の目的 福島県において、創造的かつ持続的に自己変革していくことができる地域社会の実現を目指し、社会的課題の解決に取り組む人材の育成及びその促進のための社会的基盤整備に関する事業を行い、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

【役員】 代表理事＝坂上英和、江川和弥 理事＝菊池道 監事＝小林直輝
 【設立】 2012年10月12日 / 法人登記 2013年3月1日

～3つの主な事業～

コミュニティスペース運営
福島県コトひらく

地域の活動拠点的なコミュニティスペースを運営。従来型で固定型に運営してきた「コミュニティBOX(ボックス)」に代わり、コミュニティスペースレンタルオフィスを開発した「福島コトひらく」を2015年にオープン。



まちづくり・復興支援

需要が地域に入り、住民と一緒に課題解決や地域づくり、復興活動に取り組むコーディネーター。

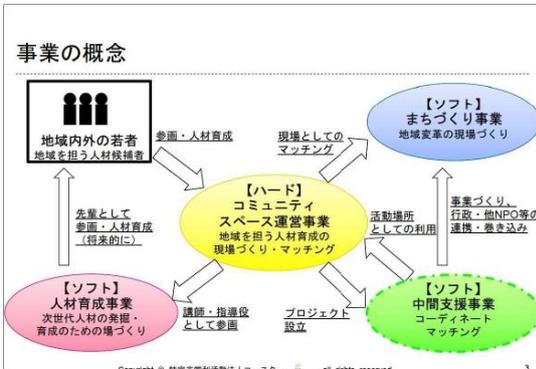


中間支援、人材育成

他のNPOや市民活動の基盤強化や資金調達など希望課題も相談に応じて対応。活動の開催、市民活動や復興に関する政策提言も実施。復興や課題も早期に取材提供している。



Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.



コミュニティスペース運営事業

概要

- 延べ600平米の倉庫をリノベーションを行い、複合型コミュニケーションスペース「福島コトひらく」を設置。
- 24時間利用可能なレンタルオフィス、3Dプリンター・スキャナー等のアイデアを即時に形にできる工房スペース、多人数でのミーティングやイベントが行える多目的会議室等を備えた複合施設を運営
- 現在レンタルオフィスに5社入居し、コワーキングスペースには、7団体の月額会員が活動している。会議室やイベント利用者は月250～300名程度の利用がある。



Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.

まちづくり・復興支援 川内村の活動実績紹介

平成24年1月に帰村宣言。高齢者が多く、当時(2017年まで)仮設住宅での生活を余儀なくされている住民が多かった。仮設内でのいきがいくつくりやセーフティネット構築事業を展開した。



<主な活動>

- 仮設住宅の住民とともに仮設内での野菜販売事業を週2回実施(写真左上)
- 野菜市場と併設してお茶のみ場を運営(写真右上)
- 仮設住宅内での清掃ボランティアを通しての御用聞きを実施(写真左下、写真右下)

川内村の住民と一緒に
「まちおこし」であり
「コトおこし」を実施中

Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.

人材育成事業

○高校生・大学生向け事業

概要

- 今後の福島を担う若手人材の発掘と育成を目的に、福島県内の高校・中学校で、社会人講師による市民講座の仲介や、県内各校の高校にて探究学習の授業を毎年週1～2コマで実施。
- 福島県内の企業・NPO法人に夏・春に1～2か月ほど大学生1～3名が新規事業や増強の事業の改善のための実践型インターンシップの設計と仲介を実施。年間15社前後、40名の学生とのマッチングを行っている。
- その他、若者のアイデアを聞きながら、実現するためのアイデア出しイベントなど、学外で若者と地域をつなげるイベントも行う。



Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.

企業へのメッセージ

皆様とご一緒にしたいこと・できること

- まちづくり・復興支援
現在、郡山近辺の復興公営住宅で避難者の生きがいくつくりやコミュニティ形成しています。
(例) 復興公営住宅合同イベントのボランティア
復興公営住宅内での御用聞きボランティア
- 高校生向け事業
探究学習で生徒と企業をつなげる活動をしています。
(例) 研究テーマを持った高校生と月1回程度の活動
- 大学生向け事業
大学生の1～2か月のインターンシップ・プログラムを行っています。

まずは、定期的に意見交換をしながら、一緒にできれば幸いです

Copyright © 特定非営利活動法人コースター all rights reserved.

[NPO 法人 コーヒータイム]

NPO法人 コーヒータイム



理事長 橋本 由利子 ・ 施設長 江田 節子

法人の紹介

- 2006年 4月 1日 福島県双葉郡浪江町大堀地区にて、主に精神障がい者のための作業所としてスタートする
- 2011年 3月11日 東日本大震災と東京電力第一原発事故により、全員がそれぞれの避難先にある仮設住宅などで生活する。日中3人で仲間と一緒に過ごすために、避難先である二本松駅前にて「喫茶店コーヒータイム」を開業する
- 2013年 1月 二本松市「金色事務所兼作業所」を開設
- 2014年 5月 二本松駅前の交流センター喫茶店の改装をする
- 2016年 6月 二本松市N.T.Tビルに事務所兼作業所を移転「若宮事務所兼作業所」
- 2018年 5月 二本松市安達地区復興公園跡地に喫茶店の2号店「コーヒータイムオブ」を開設
- 2022年 7月 1日 浪江町福祉センターに「コーヒータイムなみえ」を開く

施設紹介

コーヒータイムは**就労継続支援B型事業所**として、障がいや病気をもち方に生産活動などを通して、社会生活に必要な知識や能力を身につけるための支援している場所です。

現在は4つの拠点があります

| 作業場 | |
|--|----------------------------|
| ①コーヒータイム若宮事務所（二本松市） ②喫茶店コーヒータイム（二本松駅前） ③コーヒータイムO B R I（二本松市油井・ベイシア近く） ④コーヒータイムなみえ（双葉郡浪江町） | 二本松市民交流センター1階 杉乃家さんのとなり |

「コーヒータイムは社会の入り口です」を理念として、障がいをもつ方の働く場所・居って一息つける場所でありたいと思っています

それぞれの目標に向かって、『いそがず あせらず あきらめず』をモットーに毎日元気にいろんな仕事に取り組みながら、頑張っています！

活動紹介



すべての人が地域の中で普通に暮らすことができるように、みんなで相談会を実施したり、交流する場を設けています。

コーヒータイムの商品

- さきどりコースター：ひと目ずついねいに磨いています！
- つながりボールペン：持ち手の部分にきれいに色を塗いたオリジナルのボールペン
- P.F.A.の平めめりゴ：色や形を工夫して、待機しています
- オリジナルコースター：色彩豊かなオリジナルコースターです

なかでもおすすめなのは、つながりのボールペンです！

社名やロゴなどを自由に印刷することができ、カラフルな色を塗ったボールペンを作る事ができます！




今までの内職作業（企業からの請負）

- シールやテープの貼り作業
- ボールペンの組立
- アパートや幼稚園の清掃
- コーヒーサービス
- 個包装ソースの袋入れ
- 書類の封筒入れ
- メーターの分解作業



みなさまへメッセージ

日々の内職作業で培った、コツコツと作業を進められるスキルを活かし、みなさまのお役に立てればと考えています！

利用者さんは職員にも分からない未知の可能性を秘めています。「この仕事は出来ないだろうな」と思われる前に、ぜひご提案ください！ 思わぬ結果が生まれるかもしれません！

アウトリーチ事業 活動のご説明



特定非営利活動法人 ビーンズふくしま
郡山事業部門
アウトリーチ事業長 山下仁子

本日のご訪問の目的

- 私たちのことを知ってほしい。
- 私たちの活動を知ってほしい。
- 応援・ご協力をお願いします！

ビーンズふくしまについて

居場所事業
相談事業
アウトリーチ事業

アウトリーチって何？

訪問型の支援



ホロリが原因で火事になってしまったことも・・・



一般家庭



息子：「パパ、今日もサッカーでゴール決めたよ！」
 パパ：「すごいなー。でも勉強もしないとダメだよ。」
 勉強ももっと頑張ってほしいな。
 子どもたちが大きくなる前にもっと貯金しないと・・・

私たちが訪問している家庭



息子：「ママ、お腹すいたね。」
 ママ：「そうだね。でも、もう食べる物何にもないの。ママ、お仕事も出来ないからお家にはお金もないの。ごめんね。」
 息子：「ホクがいるからママに迷惑かけてごめん。なさい。」
 ママ：「命から二人で死のうか。」
 息子：「それでママが大家じゃなくなるならホクはそれでいいよ・・・」

子どもの貧困

子どもの貧困とは
平均的な所得の半分に満たない世帯で暮らす18歳未満の子ども

13.5% 7人に1人

日本の子どもの貧困率
先進諸国でも最悪なレベル

| 保護者の状況 | 家庭の環境 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい・発達障がいを抱えている ・過剰服薬・薬物依存で自殺企図を繰り返す ・アルコール依存症で子どもに暴力を繰り返す ・双極性障がいやパーソナリティ障がい等の精神疾患を抱えている ・うつ病が悪化し心中企図を繰り返す ・交際相手と一緒に子どもに虐待を繰り返す | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ屋敷のような家の中 ・悪臭が充満する家の中 ・家中にペット等の排泄物がある ・金銭管理が出来ずライフラインが停止されてしまう ・健康を維持するために必要な栄養を食事などでとることが出来ないことがある |

貧困の中で生きる子どもの実状

自分が産まれた時から、親は働いておらず、部屋の中はゴチャゴチャ。食事はコンビニ弁当。それが当たり前。違和感を持つとこさえない。だから困ってもいない。

↓

生きる力の低下

子どもの生きる力

- ・自分の実状に向き合い、困りごとを認識できること
- ・周りに助けを求められることができること
- ・危険を回避する能力や技術を身につけ、困難なできごとに立ち向かうことができること
- ・自分を信じ、将来に希望を持って生きることができること

生きる力が低下してしまった子どもたち

何度も妊娠・中絶を繰り返す
暴力事件や詐欺事件を起こしてしまう
家族を刺してしまった
虐待を受けていても声を上げることが出来ない
自殺未遂を繰り返す
自ら命を絶ってしまう

子どもたちとのかかわり

やりたくないなんて何も無い、死んでしまいたい

あっか、それはおもしろいんだけど、私たちがいるよ。もっちゃんじゃないよ。

生きて力が低下した状態

生きて力が回復してきた状態

本当はね、●●がいたんだ。

助けてくれてありがとう。どうしたら自分が出来るか一緒に考えて一緒に動いてみよう！

自分の人生を差し込んで幸せになりたい！

ずっと自力だよ、ずっと応援してるよ！

自立・又は自立に向かって歩む状態

内閣府からの評価

全国的にこの支援手法が広まってきた。

立ち直れない想い。

もう、何年前の話になります。14歳の女の子を担当しました。その子は、継父からの性虐待を受けていました。そのことに気づいた母からは身体的虐待を受けました。何度も何度も面談をし、その子の意思を確認し福島県から何百キロも離れた地への移送が決定しました。14歳の女の子がたった一人で、それでも新たな地での希望に溢れた生活を夢見て出発しました。それから程なくして、彼女から毎日のように電話が来ました。淋しい。誰も頼れる人がいない。福島に帰りたいたい。泣きながら訴えてきました。あれ程までに痛つけられても、母のもとに帰りたいたい泣きました。2年が経過したある日、施設から電話がありました。彼女がいなくなりました。彼女から、私の電話番号に連絡が入りました。彼女は、淋しさのあまり、福島県に戻ってきてしまっていたのです。私は彼女に会いませんでした。会ってしまうことは無責任だと、あの時の私が考えた積一杯の応えでした。「山下さんに会いたい。」それが彼女の最後の言葉でした。



彼女の16年間という人生への想い。
生きる力を育むことが出来なかったことへの後悔。
この想いを胸に、日々、子どもたちのもとへと向かいます。

応援・ご協力いただきたいこと

子どもとの時間軸・費用

- 子どものありのままを受け止める時間**
 - ・ 通常訪問：1回2000円（学習施設利用1回1000円）
- 子どもが自分の言葉で想いを伝えてくれるまでそして動き出す時**
 - ・ 生活支援、食育講座の調理等：1回3000円
 - ・ ネット利用での学び：Wi-Fi 1ヶ月利用5000円
- 子どもが他者と関わることで学びを得る時間**
 - ・ キャンプ：1回7000円

地域のみなさん・企業さんからのサポート

- 子どもの願いを叶えてくれる企業さん（職場見学・ボランティア受入等）
- お金を寄付してくれる方
- 食べものや服などの日用品を寄付してくれる多くの方
- 一緒に片付けてくれる場所の方
- アルコール依存症の親がお酒を飲まないように注意してくれる居酒屋さん
- 住まいを確保してくれる不動産屋さん
- 子どもと一緒に遊んでくれるボランティアさん

支援成果

- 会話が出来ようになりました。
- 笑ってくれるようになりました。
- 学校に行けるようになりました。
- 進学率100%
- 好きな人ができました。

そして、幸せになりたいと願えるようになりました。

アウトリーチ事業からのお知らせ

ノウハウ本の配布

アウトリーチ支援に関するノウハウをまとめた本を無料で配布しております。ご希望の方は、下記の連絡先までご連絡ください。（内閣府のHPで紹介されました！）

読者の運命をたかきるために

連絡先

住所 〒963-8022 郡山市西ノ内1丁目21-4 白鷺ビル205
電話番号 090-8567-4121(担当直通)

マンスリーサポーター単発での寄付

アウトリーチ事業 Instagram

アウトリーチ事業 ツイッター

「子どもの貧困」

この問題を解決していくには、子どもたちの命が明日へ繋がることを願うのみならず、地域と一緒につくる社会を願っています。

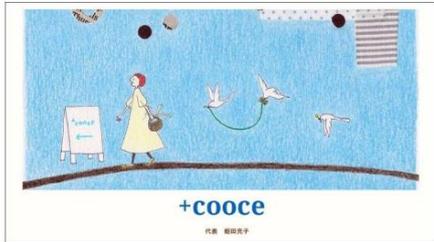
子どもたちの命が明日へ繋がることを願うのみならず、地域と一緒につくる社会を願っています。

ご協力よろしくお願いたします。



ご清聴 ありがとうございます。

[プラクーチェ]



プラクーチェとは？

クーチェとは小庭を意味します。空想しやすように、運をお散歩しながらたくさんのおいしいプラスしてぐんちんという想いを込めてプラクーチェを作りました。

様々な世代が自分なりの楽しみ方や考え方を持ち寄り、交流の場に出会える場です。「コロナに強い、人並み暮らし」をコンセプトに共に楽しめる場でありたいと思っています。




プラクーチェの想い

私たちが子どものころは、地域ぐるみで子育てをしていました。しかし人口が減り、核家族が増えて子育ては親の負担になり、社会からの孤立が目立つようになりました。そんな中で私たちは、生きづらさを感じる親に寄り添う活動をしたいと思いました。「困ったときにはなんでも気兼ねなく相談できる人がいる」「一緒に楽しめるお友達や仲間がいる」「身近に頼もしい人の先輩がいる」「近くに親近感がある人」プラクーチェはそんな人と、その間にいる若者や高齢者を巻き込んだ暮らしやすいコミュニティづくりをめざしています。





私たちの取組①

■遠れ家の一軒家のフリースペース

いわき市のJR新駅から徒歩5分。フリースペースでは、いつでも誰でも好きな時に開催できる。レンタルスペースとして誰でもお教室を開催できる。ワークショップメニューから好きなものを自分で時間を選んで楽しむことができます。まわりの目を気にすることなく子どもを連れて来たり、お昼を食べたりできるような場に目指しています。




私たちの取組②

■子育てサークル

保育士や子育て支援員等の専門性のあるスタッフが実施しお母さんたちの交流や子育て相談の場として利用されています。「子どもは地域のみんで育てるもの」「子育てで困ったときに頼りになる人がこの地域にいる」そんな信念を目標としてこの取り組みを行っています。また、誰でも参加費無料で参加していただけるよう取り組みを強化してサステイナブルな活動も行っていきます。






私たちの取組③

■寺ヨガ

いわき市蓮華寺の蓮華寺の本堂をお借りして、2019年から月に一度「寺ヨガ」を開催。子どもと一緒に参加できるヨガを目指しており、保育士やベテランという強みを活かして託児付きのレッスンもしています。今では参加者の4割は男性で、小学生から高齢者まで幅広い年齢の方が参加しています。





私たちの取組④

■写真

撮影の難しさを克服して毎月、定例で写真会開催。写真を撮ることによって日常生活から隠れて心を癒えること、絵や参加者さんとお話をしながら交流する機会を作っています。

寺ヨガや写真は年齢や性別を問わず参加いただけるイベントとなっており、高齢者や交流機会の少ない男性にも多数ご参加いただいています。




私たちの取組⑤

■地域イベントやワークショップへの参加

いわき市内外で行われているイベントに参加して、自分たちで作ったオリジナル商品を販売したり、スキルを活かしたワークショップを通して、私たちの活動を発信しています。





企業の皆さんへ

私たちの強み、セールスポイント。

- 子育て経験者であり、保育士や子育て支援員という専門性がある。
- 農業、ハンドメイド作業といったスキルを活かしたワークショップを通して幅広い世代に向けた働きかけができる。
- 地元農産物に加工し、地域の行事の交流活動に積極的に参加している。
- 小さな目標からこそ、参加者の「やりがい」という声を通して笑顔のお手紙も送っている。
- 駅から徒歩5分、駐車場ありという立地条件から地域住民が気軽に立ち寄れる。
- 高品質なフリースペースは、遠郊外の環境が所有しているため、イベントに絞ってはお客様を開催することができる。

私たちの課題

- フリースペースの安定的な利用につながらない。
- スタッフを多く抱えるほどの稼働がまだついていないので、事業を拡大できない。

～、～募集しています～、～

- フリースペースを有効活用してくれる方
- プラクーチェの活動を手伝ってくれる方

いわき市東町一丁目11-4
080-5556-3269(代表：ひるた)
koocee@gmail.com



[NPO 法人 日本予防医学総合研究所]



NPO法人 日本予防医学総合研究所
理事長 大河内 晃

NPOを設立した経緯

自己紹介・団体を立ち上げた経緯

| | | |
|-------------------------------------|--|--|
| <p>南相馬市の警察協会に勤務 北原 大輔</p> | <p>東海地区の中心には、広報活動を強化して市民に事故の発生を予防する ・ 被災者に協力する不安や懸念の解消活動を実施する ことが必要と認識</p> | <p>東日本大震災発生より発生、復興、復興計画の財源を目的に二次被害の発生とその軽減を有する。</p> |
| <p>北原 大輔 北原 大輔 北原 大輔</p> | <p>この経験を活かし、独自に放射能の現地調査を実施</p> | <p>結果は、近年の新型コロナウイルス感染症の拡大に類似し、震災発生時の調査や対応に「新型コロナウイルス感染症の蔓延の予防」に似ており、震災発生時の対応として、福島県内に活動拠点を有する</p> |
| <p>スキーバイディングのインストラクター 橋本 伸一</p> | <p>この経験を活かし、独自に放射能の現地調査を実施</p> | <p>東北地方の山岳部では雪崩による被害の発生が近年増加しており、震災発生時の調査や対応に似ており、震災発生時の対応として、福島県内に活動拠点を有する</p> |

福島県の復興や被災者の支援のために2021年10月27日にNPO法人 日本予防医学総合研究所を設立。南相馬市の助成を受け運営。

日本予防医学総合研究所の活動について

地域コミュニティ醸成事業に取り組む中で

「心の復興拠点チーム芝桜」 立ち上げ

第三の居場所として

- 一般市民の方、子どもたちの集る環境づくり
- 各種イベント
 - ・ 地産地消の料理教室や食育(放射能教育、コロナウイルス教育を含む)
 - ・ AED(自動体外除細動装置)普及
 - ・ 外部からの講師を招いた防災教室
 - ・ 和太鼓演奏などのチャリティーコンサート
- 教育事業
を行なっていきたい

これまでの活動実績

- 環境保全に関わる教室
(ピーチクリーニング活動)
南相馬市環海海岸清掃活動 3回開催
- 放射能教育事業
- 感染症予防講座の開催
南相馬市小高交流センター
福島市飯坂学習センター
※ 原則として毎月1回 第3日曜日開催
(オンラインを含む)

ピーチクリーニング活動後のパースキュー

企業の皆様へ

NPO法人を立ち上げて1年が経過し、今後本格的に事業を展開していくフェーズになってきました。そこで、今後の活動の展開において企業の皆様との連携、協働を図りたいと思ひ、この事業に参加しました。

皆様へのお願い

- 当法人の発信する情報(放射能・新型コロナウイルス)の共有と広報活動にご協力ください。
依然として新型コロナウイルス問題は深刻な状況が続いております。現状の行状には、まずウェブサイトにある正確な情報の発信をその共有が不可欠であると考えており、情報発信事業を現在の「目に見えない複合災害」への支援活動として行っています。Facebookと当法人の公式ホームページにおける当該情報の共有についてご協力をいただきたいと思います。
- 私たちの活動にご参加ください。
Facebookとホームページ上で当法人のイベントやピーチクリーニング活動などのイベントを告知させていただきます。イベントへの参加やクリーニング活動のお手伝いをお願いしたいと存じます。また、正会員様 賛助会員様も募集しております

NPO法人 日本予防医学総合研究所

<https://akira4141.amebaownd.com/>

福島県南相馬市原町区高字高林59番地
TEL: 090-7766-9048
e-mail: japanpreventive@akira4141.com
登録地: 福島県南相馬市原町区高字高林59番地

[一般社団法人 オープンデータラボ]

一般社団法人オープンデータラボ 紹介

Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.

一般社団法人オープンデータラボ



オープンデータ

誰でも許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができるデータをいいます。商用としても利用可能です。

「人口統計」や「公共施設の場所」などをはじめとした様々な**公共のデータ**を、ユーザ(市民、民間企業など)に**有効活用**していただき、**社会経済全体の発展**に寄与することを目的としています。

- オープンデータラボが実現したい社会
 - データに依拠した意思決定の推進
 - データを共通言語とした、協同の推進
- そのために取り組んでいる事業
 - オープンデータの公開や活用の推進
 - より分かりやすいデータの表現方法の検討と実践
 - 社会に価値をとり組みの見える化、起業家育成
 - 社会調査、データ分析

Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.

組織概要

- 設立
 - 2017年5月17日
- 構成
 - 理事4名、監事1名
 - 代表理事 岩崎大樹
 - 理事 長井英之、鈴木浩、田村泰生
 - 幹事 松野享司
 - 理事会設置法人、非営利型一般社団法人
- 理事・事務局長 長井 英之



福島県福島市出身。大日本印刷株式会社、株式会社マクロミル、株式会社リクルートドクターズキャリア等を経て、合同会社シェアード・エスイーを設立。NPOや中小企業のICTコンサルティング業務に従事。データサイエンス、デジタルマーケティング担当。福島県産業振興センター認定コンサルタント、公益財団法人埼玉県産業振興公社認定支援専門家。

Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.

事例1 福島県子どもの遊び場マップ (オープンデータ可視化)

- 課題
 - 提供されている遊び場リストはあるが、自分の生活圏なのがわからない。
 - 自分の子どもが対象年齢なのか、情報を絞り込みにくい。
 - 今日、利用できるかどうかわかりにくい。
- 子どもの遊び場を地図上にマッピング、ニーズの多い抽出条件を用意し、利用可能な遊び場を瞬時に判別可能にする。



Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.

事例2 郡山市スモールスタート支援事業 (社会起業家育成)

- 課題
 - 解決したい地域課題を持っているが、解決に向けてどう取り組んでよいのかわからない。
 - 解決のための資源(ヒト・モノ・カネ・情報)が足りない。
- 社会課題解決にチャレンジしたい方・チームを対象に、プロジェクト推進の伴走型支援と経費支援を行っています。(郡山市委託事業)



Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.

事例3 社会的インパクトマネジメントの導入支援

- 課題
 - 社会をより良くするための取り組みを始めたが、そのためにどのような目標設定をすべきかわからない。
 - 事業の中でどのようなポジティブ・ネガティブな効果が出ているのか把握しにくい。
 - 取り組みの成果をステークホルダーにどのように報告してよいかわからない。
- 中長期的に解決したい課題解決に効果があるプログラムと成果指標KPIを定め、そのモニタリングと改善を通じてその実現を支援していきます。



Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.

企業の皆さんと協働したいこと

- 貴社の社会的取り組み(NPOとの連携、CSR、SDGs)を他企業にも知っていただくことで、取り組みの可視化や地域での取り組み加速に繋がらないかと考えています。
 - 『既に行われている』、または『今回のマッチングによって始まる事業』の見える化をさせていただきますませんか？
 - 貴社、NPO、弊社三者で「活動事例」や「社会貢献レポート」として活用可能なレポートを作成いたします。
 - レポート作成に当たり、活動・アンケート調査等のご協力をお願いいたします。

Copyright 2022 Open Data Lab. All rights reserved.



中学三年生
フォローアップスクール



フォローアップスクールの対象は「ゴールデンエイジ」

- **ゴールデンエイジ(9才～12才)**
 - 神経系の発達がほぼ完成に近づき、形成的にもやや安定し、動きの巧みさを身につけるのにもっとも適した時期。一生に一度だけ訪れる、あらゆる物事を短時間で覚えることのできる「即座の習得」を備えた時期。
- **ポストゴールデンエイジ(13才～15才)**
 - 筋肉や骨格が急速に伸び、体のバランスが今までとは異なってくる。そのために感覚が狂い、習得した技術が一時的にできなくなったり、上達に時間がかかりたりすること。
 - **肉体的にも精神的にも非常に不安定な時期**であり、指導において特に難しい年代「**思春期**」「**反抗期**」についてよく理解し、それぞれの子供にあった指導が必須。

H15年度実施事業 福島大学スポーツユニオンとの連携

- プロトリーナー、各種指導者、福島大学スポーツユニオンとのプログラム検討
 - プログラム開発
 - 冊子作成
 - スポーツ指導者へ配布
- 以後、県内の総合型スポーツクラブや野球・バレーボールなどで取組みが増えてきた。
- 配布したプログラム
-

H25年度の取り組み フォローアップスクールの定着と広域化

- **目的**
 - 指導者間交流による「指導力の向上」
 - トップアスリート指導による「メンタル面のサポート」「夢・目標」
 - 適度な運動、他地域との交流を通じ、健全な心身の安定を育む
 - 単独クラブでは練習が中心。広域交流で、ゲーム形式など活動内容の充実を図る
 - 部活動引退後のスポーツ離れをリポート
 - 中学⇒高校の用具サイズ変化へのサポート

これからの福島県を支えるのは
心身ともに健康であり、将来への夢・希望を持つ子どもたち！



エフスポーツとは

- 文部科学省が全国に設立を進める「総合型地域スポーツクラブ」の活動が柱
- 2001年4月、福島市初の総合型クラブとして設立
- 2002年6月、NPO法人化
- 現在20を超えるプログラムで、未就学児から80歳を超える方々まで、身体を動かすことでの心身の健康づくりを推進

フォローアップスクールとは：
中体連終了後から翌3月までの約半年間好きなスポーツを続けられる環境をつくる。

- 効果効能
 - 同世代と
 - 共通のスポーツを通じたコミュニケーション
 - 適度な運動によって、肉体的にも精神的にも非常に不安定な時期を、乗り越える。



H25年度の取り組み フォローアップスクールの定着と広域化

- **課題**
 - 「中学3年」という実情を把握・理解した指導者不足
 - 単独クラブ・少数参加での単一的練習
 - 「夢」「希望」「目的」の提示



H25年度の取り組み フォローアップスクールの定着と広域化

- **硬式野球**
 - 軟式から硬式へ。用具も変化。
 - 合同練習と交流試合
- **バレーボール**
 - ボールが4号球から5号球へ
 - 県外チームも集まる合同練習、交流試合。
- **硬式卓球**
 - トップアスリートの招聘
- **ハンドボール**
 - 本格的な指導者の不足。元全日本代表の指導(エフスポーツスタッフ)。
- **スポーツフェスタ**
 - 競技性を問わず、体を動かす機会の提供

[NPO 法人 ビーンズふくしま(福島事業所)]

**企業とNPO
マッチング会**

特定非営利活動法人
ビーンズふくしま
江藤大裕

特定非営利活動法人ビーンズふくしま

【ビーンズふくしまのビジョン】
生きにくさを抱える子ども若者が、
自ら望む姿でつながることができる**社会**をつくる。

1999年 フリースクールビーンズふくしま設立
2004年 不登校の子どもやご家族の相談活動「こころの相談室」
2007年 厚生労働省委託事業「ふくしま若者サポートステーション」
2011年 うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト
2012年 福島県委託事業「ピアカウンセリング事業」
2014年 東日本大震災における被災者の支援活動等に対する
厚生労働大臣感謝状授与
2018年 子ども食堂「よしだキッチン」

MISSION

新型コロナウイルスがもたらしたものの、
これから起こりえる子どもたちを取り巻く複雑な課題。
社会課題を共に考え、会員参加型のまちなみを出したい。
自分が変わる
まちなみが変わる
世界が変わる



子ども食堂を通したまちづくり

高校生ですボランティアできますか？

家庭菜園でとれた野菜がたくさんあります！

企業として何かできることありますか？

➤ できることを持ち寄る**つながりのまち**

「ともに」活動してきたこと

- ・ひとり親家庭の食の支援 (リコ様・各ライオンズクラブ様・デイリーサービス様など)
- ・子ども向けイベント開催 (ファミリーマート・キワニスクラブ・こんの様)
- ・学生チャリティカフェへの協力 (いちい様)
- ・子ども食堂運営協力 (伊達貨物運送様・大戸屋様・ドトールコーヒー様)
- ・子ども食堂共催 (福島ガス様)

「わたしたち」ができること

**専門性と非専門性
直接支援と間接支援**

様々な困難を乗り越えることのできる
「つながりのまち」

ご清聴ありがとうございました。
特定非営利活動法人ビーンズふくしま 江藤大裕

[NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会]

NPO法人桑折町共に生きる社会を創る会
輪 楽 創
 (わらっく)
 理事長 高橋 徹




●設立のきっかけ ●団体の目的

○障がい者が利用できる就労支援の事業所が町には1か所しかなく、そのうえ利用者がいっぱい。
 ○親の会会員の障がいのあるおきんたちは、隣の伊達市の施設利用がほとんどであった。親の高齢化に伴い送迎が大変だ。

○障がいの有無にかかわらず安心して楽しく生活できる共生社会の実現に取り組む

① 就労継続支援B型事業所「輪楽創」の経営による障がい者の自立の支援。
 ② 障がい者、保護者、地域住民に対する相談活動による就労や生活の支援。
 ③ 食堂を通した障がい者と地域住民の交流、各種イベント、広報活動等による共生社会の創出。

桑折町手をつなぐ親の会の願い「桑折町に新たな事業所を作りたい」




私たちの思い、考え

▲地域での問題 ●目指す地域の姿

○障がいの有無にかかわらず共に生きる社会の意識が高いとは言えない。

○障がいの有無にかかわらず共に生きる共生社会の創造。

○就労支援事業所から、他の就労支援サービスや一般就労へ移行していく際に就労できる「場」についての情報不足。

○障がい者の就労へ向けて、情報を集約できる場の充実。

○地域内での関係機関による連携が不十分。

○障がい者支援の関係機関連携の推進。

活動紹介

輪楽創の作業(仕事ありきではない)

・多くの作業の中から利用者が自分の夢や希望に沿って作業を選ぶ
 ・利用者が自分の意志で作業を決定し、自尊心を高めていく

①農作業 食堂での食材(6次化) 農産物の販売 農福連携(人で不足の「農」と仕事不足の「福」の連携)
 ②食堂での調理
 ③織物
 ④DM便
 ⑤企業からの下請け(フルーツキャップ折り、箱折り)



地域、市民、参加者の反応や変化・成果

○利用者からは・・・「輪楽創はとても楽しい」
 ○保護者からは・・・「障がい者の居場所ができてよかった」
 ○福祉関係者からは・・・「輪楽創は家族的で紹介しなくなる」
 ○地域住民からは・・・輪楽創祭りや地域での販売会、食堂での交流、便りを通じて「障がい者と交流できる場ができてうれしい」「障がいに関する地域の情報を知り、応援しなくなる」




協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

○農作業を中心に作業をしているが、あまり高い収入は望めない。
 ○コロナの影響もあり、企業からの下請けの作業がなくなったり減ったりしている。
 ○地域住民との交流も目的の一つにした食堂経営であるが、コロナの影響で来客者が減っている。
 ○精神障がい者の相談・通所も増えているが、その支援方法が難しい。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

▶ ○農福連携の充実を図り、農業関連をはじめとした機関や企業からの指導助言
 ▶ ○障がい者ができる作業を共に研究開発
 ▶ ○食堂以外の地域住民との新たな交流についてノウハウの共有
 ▶ ○障がい者雇用(特に精神障がい者の雇用)の社会における企業や事業所の役割について共に研究

企業に向けてメッセージ

○「共に生きる社会」を共に創っていきましょう。

○障がい者の就労に向けて合理的配慮を共に研修していきましょう。

○障がい者自立支援協議会等、地域の福祉関連機関と共に連携していきましょう。




[NPO 法人市民活動ネットワーク南相馬

BEET FARM - since1749 - さとばたけ
NPO法人市民活動ネットワーク相馬



さとばたけハウス
 〒976-0036
 相馬市相馬字山崎89 080-5562-3335
 e-mail : satobatake@bb.ne.jp
 HP : satobatake.fc2.net
 会員募集中！ 入会 1,000円 年費 3,000円

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 1

●設立のきっかけ

- 東日本大震災と原発事故により、職場、自宅が被災
- 相馬・双葉地域の震災復興のために

平成25年
 ・NPO相双歴史文化保存会
 ・一般社団法人相馬報徳社設立(相馬報徳社は、令和2年12月解散)
 令和3年10月組織名称変更



二宮尊徳

●団体の目的

活動内容

- 震災復興コミュニティ施設さとばたけハウスの運営
- 報徳仕法の実践
 論語や、報徳思想をとおして地域の子供たちへの学習支援活動
- 相馬・双葉地区の歴史・文化等の保存活動
 人材育成、文化財等の保存

＊報徳とは、江戸時代の幕府指導者二宮金次郎が教えた農村の具体的な復興施策・思想 変換・勤労・分度・権謀の4つの徳目を実践することです。

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 2

私たちの思い、考え

●地域の課題

- 相馬・双葉の人口流出
- 有形・無形文化財の保護、維持が困難
- 地域経済の停滞、縮小
→喪失

ほんの少しでも・・・

●課題解決のために

天明・天保の大飢饉を克服した仕法で、再度復興に取り組む。

- 人口減少の歯止めに自分たち1団体が頑張っても限界があるため他団体と連携を目指す。
- 宮城、山形、福島の団体とも連携し、農業をベースに地場産品を活性化。

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 3

活動紹介

【復興支援コミュニティ】

- 落花生の生産、農産品加工食品の販売
- アニメ「無念」、「いのちのおにぎり」制作
- こども論語教室開催
- ドキュメンタリー映画「土徳流離」制作・上映
- 東北まち物語紙芝居100本化プロジェクト
- アニメ「この世界の片隅に」上映
- ミュージカル「二宮金次郎」実施
- 映画「二宮金次郎」上映
- 金次郎語録カレンダー制作



プレイダンス

【文化財保護等】

- 地酒「馬酔」復活
- 焼き物「相馬駒焼」復活

× 二宮尊徳高弟「富田家住宅」保存活動
 × 相馬中村藩報徳役所「海東家住宅」
 ※市指定文化財「御仕法造り佐藤家住宅」



落花生販売

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 4

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

震災から10年が経過。
 そして
 次の10年に向けての取り組み

- 震災体験が風化
- ハウスの利用再開
 コロナウイルスによる1年以上の閉鎖を乗り越えて
 過去、月約20団体、延べ500人、年間6000人がサークル、地域学習会、イベント等利用
 さらに、新規事業の実施、発展



北海道報徳社、茨城県茨西市常盤会のみなさんと

地域の企業、住民の方々とのさらなる連携

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 5

団体として取り組みたいこと

- カルチャー教室運営とイベント開催
- 人材育成事業
- 地場産品、農産品加工のネット販売
- 文化財保存活動

福島市泉の国登録有形文化財「佐藤家住宅」の保存活用

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 6

メッセージ

NPO法人市民活動ネットワーク
 「さとばたけハウス」のこれからの役割
 住民の絆づくりと交流拠点

↓

さまざまな事業をとおして地域貢献




2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 7

お願いしたいこと

福島・伊達市など、福島県北地域でのイベントなどの協力

- 落花生など、農産品加工の販売支援
- 紙芝居の実施先と、絵本・DVDの販売協力支援
- こども論語実施先確保

⇒ ホームページの内容充実 と ネット販売

2023/3/4 ビートファーム(satobatake) 8

]

(5) マッチング会後のアフターフォロー

マッチング会の終了後、参加 NPO や企業にアンケートを行った。

- 実施期間：令和4年11月16日(水)～
- 実施方法：専用アンケートフォームによる調査
- アンケートの内容

【質問1】 マッチング会は、貴団体/貴社にとって有意義でしたか？

〈NPO〉

[有意義だった/やや有意義だった]

- ・ 活動内容を知って頂き企業さんが心を寄せてくださった。
- ・ 地域企業の社会課題の捉え方について知ることができた。
- ・ 去年の交流の続きもでき、具体的なお仕事のご提案も頂くことができた。
- ・ 障がい者雇用に大切な合理的配慮を話すことができた。
- ・ 参加企業様との交流を持てたことと、当会を知っていただくことができた。
- ・ 今後事業を進める上で、とても勉強になった。
- ・ 企業との交流だけではなく、他団体との交流する機会となった。
- ・ コロナ禍で、できなくなっていた交流会が出来て、対面で話すのは、やはり良いなと感じた。また色々な業種の方たちの話も楽しかった。
- ・ お付き合いのある企業様とは改めて近況の意見交換ができた。また新規企業様ともたくさんお話ができたのでとても意義のあるマッチング会になった。
- ・ 自団体を振り返り、言語化して伝えるということを初めて行ったので、自分たちの棚卸しができてとてもよかった。
- ・ 企業の方々や、他の団体の方とお話できて活動のヒントがいただけたのもありがたかった。

[あまり有意義ではなかった]

- ・ 自己紹介程度で終わってしまった。

〈企業等〉

[有意義だった／やや有意義だった]

- ・ どこにどのような NPO 様が存在し、どのような課題に取り組んでいるのか？お悩みごとは何か？等々を直接お伺いすることができ、非常に有意義だった。
- ・ 複数団体と連携できそうな話げできた。
- ・ 改めて協働の大切さを感じた。
- ・ 日頃の業務では具体的な課題や人の顔が見えていない福祉分野の話が多く聞けた。
- ・ 普段の業務の中では中々お目にかかれぬ団体や企業とお話させていただく機会となった。
- ・ これまで接点が無かった NPO と会話することが出来た。
- ・ 一緒に社会課題の解決に取り組んでみたい NPO さんと繋がりが持てた。
- ・ 地域のために活動している団体の活動内容を知ることができるよい機会となった。
- ・ 県で行っている地域活性化のための補助事業（サポート事業補助金）を知っていただく機会とすることができた。
- ・ 参加 NPO の現状を知ることが出来た。
- ・ 当地の NPO 様と情報交換及び共有を図ることが出来た。

[あまり有意義ではなかつた]

- ・ 私の都合で遅参・早退となったため。

【質問 2】 今後の交流や連携・協働につながりそうな情報を得ることはできましたでしょうか？

〈NPO〉

[今後の交流や連携・協働につながりそうな情報を得ることができた]

- ・ 具体的に、アパートのエントランスの清掃及び除草作業などの提案があった。
- ・ 合理的配慮に関する勉強会に参加してもよい事業所がいた。
- ・ 当法人の一押しの商品に興味を示してくれた方が複数いた。
- ・ 幾つかの企業と具体的な連携の検討が出来た。
- ・ 私たちのチラシ等を店舗に置いていただけることになった。

[今後の交流や連携・協働につながりそうなものは得られなかったが、貴重な情報を得ることができた]

- ・ 参加企業様の中で数社様に、機会があればご連絡してみたい。
- ・ 当方の事業においては、今後の連携や協働に直接的にはつながる展望は見られなかったものの、今後の交流や情報交換などにおいて、今回得られたつながりや情報は大きな価値がうまれたと感じた。

[今後の交流や連携・協働につながりそうな情報は得られなかった]

- ・ 具体的な事業展開にまで行かなかった。

〈企業等〉

[今後の交流や連携・協働につながりそうな情報を得ることができた]

- ・ 自社の福利厚生活動での連携可能性があると思われる NPO があった。
- ・ 自社業務と連携の可能性及び、店舗での広報活動など具体的に想定できた。
- ・ 近隣の NPO と交流を持てそうです
- ・ 地域づくりの課題である「人づくり」や「健康長寿社会」に係る事業をサポートできる可能性。
- ・ イベント情報のご提供、EC サイトへの商品掲載など。
- ・ 高齢者向けサービスなどの展開。
- ・ 福島県のサポート事業について、各団体に説明できた。
- ・ 参加団体の方からは具体的な事業内容は未定だが、活用したいとのお話があった。

[今後の交流や連携・協働につながりそうなものは得られなかったが、貴重な情報を得ることができた]

- ・ 活動に対する広報の現状を知り、また広報のやり方などのアイデアをお話し出来た。
- ・ 参加した NPO 様及び、同組織の利用者様に対し、当組合として提供できるサービスは何か、情報共有することができた。

[今後の交流や連携・協働につながりそうな情報は得られなかった。]

- ・ 具体的に何を欲しているのか、NPO 側と参加企業側の希望を明記してあるとさらに突っ込んだ話ができるのではないかと。「現在の活動紹介」が長くて、「何を求めている」を個別商談のみとするのはもったいないと感じた。

【質問3】 その他、ご意見・ご希望等あればご記入ください。

〈NPO〉

- ・ 話し合う時間を均一にとるのではなく、興味がある法人ともう少し多くお話しできればよかった。
- ・ 毎年、毎年どんどん有意義な機会になっていると感じる。また、連携しやすいよう企業さんのプレゼン（もしくは事業概要のようなパンフレット）もあれば更にどういったリソースがあるのかわかりやすく協働もしやすいのではないかと。
- ・ どの事業所も自分のことで忙しいと思うので、ちょっとした連携でよいからできるところから始めればよい。
- ・ 企業だけではなく、県のご担当の方も入って頂いていたことは非常に良かった。委託や補助金の関係性だけではなく、できることから始める形の行政とNPOのマッチング事例ができることはとても大切だなと感じた。
- ・ 事前に企業の情報があれば予定が立てやすかったのではないかと。マッチング会の準備段階で幾つかの仕掛けが必要。

〈企業等〉

- ・ 地元の企業として、近隣で活動していらっしゃるNPO様を通じて、地域貢献ができる可能性を拡げて頂ける貴重な場と認識している。引き続きお声掛け頂きたい。
- ・ NPOの参加者が少なかったにも関わらず、時間が足りないほどの課題や団体の活動内容の説明が濃いもので、大変勉強になった。団体の特色・分野に合わせて、関連部門も参加できれば、より団体にとっても有意義になるのではないかと。
- ・ 今後も情報収集のアンテナをしっかりと伸ばしていきたい。
- ・ 個別面談の時間が10分だと短く感じた。
- ・ 全体の運行の問題があるので難しいかもしれませんが、15分ほど時間があれば連携・共同につなげるための情報交換がもう少しできると思う。
- ・ NPO法人等が説明を行う際に、今後どのような活動を行っていきたいのかという説明があれば、個別面談の際に具体的な話に繋がるのではないかと感じた。

- ・ いろんなジャンルの NPO の参加がもう少し増えると良いと思う。
- ・ 参加企業側も簡単な資料を用意するなど、口頭のみではない紹介ができればいいと思った。参加企業もメリットが生まれるからこそ、応援したい、協力したい、協働したい、につながると思う。
- ・ 企業と NPO が相手方のリソースを相互活用するといったような意思を持って参加するといいのかな、と感じた。

4. マッチング事業の成果

- (1) 令和3年11月に実施した「NPOと企業とのマッチング会」後の参加NPOと参加企業との協働に関し、令和4年度に実施された事業および令和5年3月現在検討が継続されている事業の進行状況。(団体名・企業名等 敬称略)

【NPOが運営するフードバンクの施設の無料貸与や運営支援】

- NPO／特定非営利活動法人 チームふくしま (福島市)
- 企業／株式会社いちい (福島市)

① 協働事業の内容

チームふくしまが運営する無人のフードバンク「コミュニティフリッジひまわり」の食品保管および受け渡しの施設について、いちいが社員寮として借り上げている施設の一室や駐車場を無料で提供。また、段ボールや発泡スチロール等の梱包材の処分についても、いちいの近隣店舗スタッフが協力している。

② 双方のメリット

- NPO／運営コストの低減。
- 企業／地域住民へのサービスの向上。

③ 成果または進行状況

令和3年度のマッチング会で検討を開始し、昨年8月より実施された。いちいの近隣店舗の駐車場も無料で活用できることから、移転前より利用者の利便性も向上した。



【NPO が主催する子ども食堂への食料品の提供】

■ NPO／特定非営利活動法人 ビーンズふくしまなど、「福島市子ども食堂 net」参加団体等（福島市）

■ 企 業／株式会社 宝来屋本店（郡山市）

① 協働事業の内容

宝来屋本店が食品トレーサビリティ用に保管し、これまで定期的に廃棄していた自社商品を、ビーンズふくしまが福島市より受託して運営している「福島市子ども食堂 net」参加団体など子ども食堂を運営する NPO 等に無料提供。

② 双方のメリット

- NPO／子ども食堂の運営に欠かせない食料品の確保。
- 企 業／食品ロスの削減。

③ 成果または進行状況

令和3年度のマッチング会后、宝来屋本店よりビーンズふくしまに連携の提案があり今年度よりほぼ毎月1回のペースで継続的に実施されている。また、ビーンズふくしまからは「福島市子ども食堂 net」参加団体への配布以外にも、宝来屋本店の地元の郡山市の NPO を紹介するなど配布先が広がっている。



【現在、検討が継続されている事業】

■NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会(施設名：輪楽創)

◎株式会社いちい

いちいの店舗内に、輪楽創を利用する障がい者による製品を展示販売するコーナーを常設する企画の具体化に向けて検討中。

- (2) 令和4年11月に実施した「NPOと企業とのマッチング会」後の参加NPOと参加企業との協働に関し、令和5年3月現在検討が継続されている事業の進行状況。
(団体名・企業名等 敬称略)
-

■NPO 法人 ビーンズふくしま(福島事業所)

◎株式会社こんの

こんのが運営する資源ごみ処理工場への、よしいだキッチン(ビーンズふくしまが毎月1回開催している子ども食堂)に参加する親子向けの見学会を検討中。

◎株式会社こんの

株式会社こんのが経営する飲食店での子ども向け職場体験イベント(1日店長など)を共同で企画中。

■NPO 法人 ビーンズふくしま(郡山事業所)

◎郡山飲食業組合

郡山飲食業組合に加盟している飲食店による、ビーンズふくしまへの食材の寄付。現時点でも、不定期ではあるがこれまでに数回実施された

■NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会(施設名：輪楽創)

◎伊達貨物運送株式会社、株式会社いちい、合同会社ジーアール福島

輪楽創の障がい者支援の取り組みに対する運営や広報面でのサポートを検討中。令和5年3月に障がい者支援についての勉強会を行い、改めて事業の重要性を確認した。

■一般社団法人 fukucier

◎合同会社ジーアール福島

お互いの顧客に対し、チラシの配布や相手方の業務内容を説明するといった、プロモーションの相互請負を行う計画あり。軌道に乗れば、この取り組みを通じて得られた収入に対する一定の割合を手数料で支払うなど業務提携に発展する可能性あり。

■NPO 法人 こども緊急サポート郡山

◎福島県中地方振興局

こども緊急サポート郡山の事業の周知やサポートスタッフの確保に関し有効な手段について、福島県中地方振興局に相談中。

■プラクーチェ

◎いわき信用組合

プラクーチェが実施しているワークショップやイベントへの、いわき信用組合と取引のある企業等への参加促進。なお、その第一歩としてプラクーチェのチラシ類をいわき信用組合の店舗に配架することになった。

◎株式会社クレハ環境

プラクーチェが実施しているワークショップのクレハ環境やグループ会社従業員への参加促進の提案を検討。

■認定 NPO 法人 なこそ授産所

◎合同会社ジーアール福島

なこそ授産所を利用する障がい者の、施設外就労(清掃、草むしりなど)について、ジーアール福島がいわき市で事業を行う同業者(ハウスクリーニング業)との仲介を行うといった協力を検討中。

■NPO 法人コーヒータイム

◎郡山飲食業組合

郡山飲食業組合に加盟している飲食店に対する、コーヒータイム利用者が制作する紙巻ボールペンのノベルティなどでの活用提案を検討中。

※以上、令和4年12月～令和4年3月に実施した取材より抜粋

令和4年度 ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務

NPO、企業等との連携・協力事業 (NPOと企業等のマッチング事業) 報告書

令和5年3月 発行

ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託:福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託:認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
